

帝国書院の新しい教科書の情報が詰まった  
**中学校 社会科Webのご案内**

中学校 社会科  
**Webも**  
 ご覧ください



令和3年度版  
**内容解説資料**

本資料は、  
 一般社団法人教科書協会  
 「教科書発行者行動規範」に  
 則っております。

中学校 社会科Webは  
 こちら



※左の二次元コードのほか、弊社ホームページならびに  
 下記URLからもご覧いただけます。

**帝国書院** 検索

<https://www.teikokushoin.co.jp/jhs2020/index.html>

帝国書院 中学校 社会科Web

令和3年度版 中学校社会科  
**教科書のご案内**

サポート体制のご案内

中学校社会科地図  
 特色を見る

社会科  
**中学生の地理**  
 特色を見る

社会科  
**中学生の歴史**  
 特色を見る

社会科  
**中学生の公民**  
 特色を見る

デジタル教科書・教材のご案内

令和3年度版  
**教科書のご案内**  
 おもな内容

- 内容解説資料 (PDF/電子ブック)
- 編修趣意書 (PDF)
- 検討の観点から見た内容の特色 (PDF/Excel)
- 5大特色の紹介
- 二次元コードの内容紹介

など

デジタル教科書・  
 教材のご案内  
 おもな内容

- Web体験版
- 特色紹介 (動画)
- デジタル教科書・  
 教材パンフレット (PDF)
- ラインナップ紹介
- 動作環境

など

サポート体制のご案内  
 おもな内容

- 教師用指導書のご案内 (PDF)
- 年間指導計画作成資料 (Excel)
- 新学習指導要領関連資料
- 学習評価に関する資料
- 特別支援教育対応地図帳

など

※上記内容は掲載される時期が異なる場合があります。また、一部内容が変わる場合があります。  
 ※本資料に掲載している教科書紙面は、見本本と一部内容が異なる場合があります。

令和3年度版 **内容解説資料** 部分サンプル

本資料は、環境にやさしい再生紙・植物油インキを使用しています。  
 また、カラーバリアフリーを含む、ユニバーサルデザインに配慮しています。  
 本書の無断転載・複製を禁じます。

**帝国書院**

〒101-0051  
 東京都千代田区神田神保町3-29  
 TEL 03-3262-0831  
 URL <https://www.teikokushoin.co.jp/>

**社会科 中学生の公民**

よりよい社会を目指して

**主体的に社会に参画する  
 意識を育む教科書**

帝国書院



# 主体的に社会に参画する意識を育む教科書

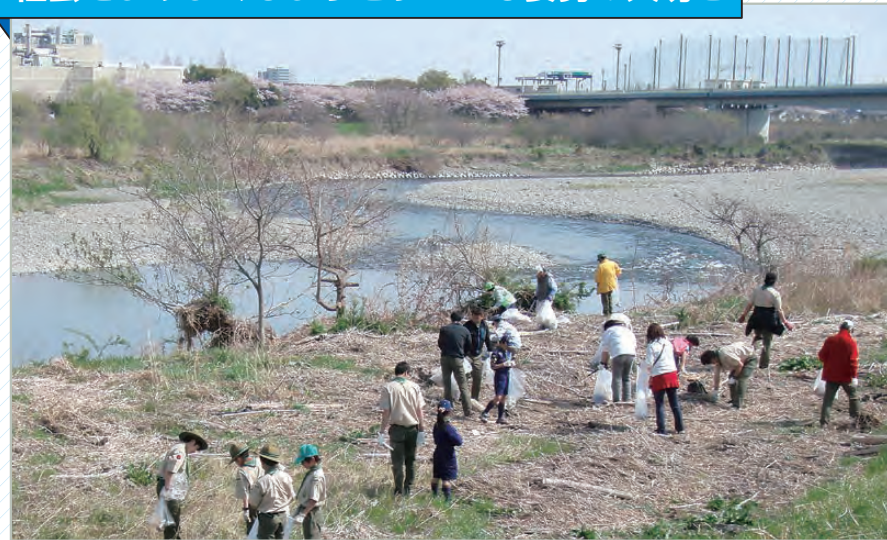
## みずからの住む地域の取り組みに参画することの大切さ



■ 巻末2-3「防災ジュニアチーム」の防災訓練の様子

地域社会の一員として、みずから考え実行する力を高められる

## 社会をよりよくしようとす る姿勢の大切さ



■ p.197 稲城市による多摩川清掃活動

自分の住む地域のこれからの  
と行動することの大切さを知  
ついで考え、よりよくしよ  
うることができる

## 質の高い製品やサービスを通して、社会をよりよくすることの大切さ



■ p.153 製品組み立ての様子

「安全」と「快適」を両立させた製品を作る企業の努力  
から、社会に貢献することのすばらしさを知ること  
ができる

## 政治に参画することの大切さ



■ p.99 少年議会の様子

同世代が行って  
いる少年議会を  
例に、主体的に  
政治に参画する  
ことの大切さを  
考えることが  
できる

## 世界に目を向けて視野を広げる大切さ



■ p.196 みずからの寄付で開校した女性のための学校の教室で、出迎えを受けるマララ・ユスフザイさん

同世代が行って  
いる取り組みを  
知り、社会参画  
への意識を  
高められる



# 本資料のもくじ



■巻頭2 東日本大震災で津波の被害を受けた地域で堤防に植林をする人たち

## 『社会科 中学生の公民』に込めた想い

帝国書院 編集部

人々は、誕生とともに家族という社会に迎えられます。その後、学校や地域社会、そして日本や世界の人々に至るまで、さまざまな関わりのなかで生きています。生徒たちには、つねに「社会のなかの一員」であることを意識し、さまざまな人々と「ともに生きていく」姿勢をもってほしいと願い、公民的分野の教科書づくりを進めてきました。

本書は、単に政治や経済などの社会のしくみのみを学ぶための教科書ではありません。さまざまな社会の姿、とりわけ、人々の重ねてきた工夫や努力を描き出すことに努めました。また、よりよい社会の実現のためには、ルールを重視し、他者の権利を尊重しつつ、お互いの役割や責任を果たすことが不可欠であることを強調しました。これらを通じて、生徒たちには、公共の精神をもつこと、積極的に社会参画することの大切さを、実感を伴って理解してほしいと考えます。

本書で学ぶ生徒たちには、自ら考え、判断し、行動に結びつけることができるようになってほしいと願っています。その際、他者に対する思いやり、他者と力を合わせて物事にあたる心を忘れずに、積極的に社会に参画して欲しい、そして、よりよい日本また世界をつくり上げる努力を重ねてほしいと考えます。これからの時代をより発展させていく役割を担うのは、生徒たちであるからです。

### 特色 ① 実社会に興味をもたせ、「学び心」を引き出す導入 5

学習する内容を概観する「学習の前に」	5
臨場感のある導入資料	9

### 特色 ② 社会参画への意識を高める内容 11

政治参加の大切さを実感できる工夫	11
それぞれの単元で社会参画を追究	13
積極的な社会参画を促す豊富な具体事例	15

### 特色 ③ 深い学びにつながる「問い」 17

見通し・振り返り学習がしやすい構造 ①章・節の構造	17
見通し・振り返り学習がしやすい構造 ②見開きの構造	19
見通し・振り返り学習がしやすい構造 ③「章の学習を振り返ろう」	21
思考力・判断力を養う「アクティブ公民」	23

### 特色 ④ 「現代社会の見方・考え方」を丁寧に解説 27

具体事例などを交えた理解しやすい本文	27
--------------------	----

### 特色 ⑤ 「知識・技能」がしっかり身に付く工夫 31

世の中のしくみがよくわかる図解・本文、充実した技能コーナー	31
-------------------------------	----

### 各部紹介

第1部 現代社会	33
第2部 政治	35
第3部 経済	37
第4部 国際	39

### サポート／特色一覧

社会科3分野 共通の特色	①3分野の関連を図った10のポイント	41
	②二次元コード コンテンツ	43
	③特別支援教育・インクルーシブ教育への配慮	45
教科書指導の サポート	①デジタル教科書・教材	47
	②教師用指導書・指導者専用サイト・定期刊行冊子など	49
『社会科 中学生の 公民』の特色一覧	①教育基本法との対応	51
	②検討の観点から見た内容の特色	53
	『社会科 中学生の公民』の全体構成(もくじ)	57
	著作者を代表して／本書の著作関係者	58

※本資料に掲載している教科書紙面は、見本本と一部内容が異なる場合があります。



# 実社会に興味をもたせ、「学び心」を引き出す導入 学習する内容を概観する「学習の前に」

p.27-28

第2部1章  
学習の前に



## 私たちの暮らしと憲法の関係を見てみよう



やってみよう

「はるの市」では、市民がよりよい暮らしを実現できるよう、さまざまな取り組みが進められています。次の場面はイラスト内のア～カのどれにあたるか、( )に記号を入れてみよう。

- ①自分の主張を記したビラを配っている。(→p.43) ( **オ** )
- ②保育園で男性保育士が働いています。(→p.45~46) ( **イ** )
- ③盲導犬を連れて歩いている人がいます。(→p.48) ( **ウ** )
- ④段差を登れず困っている人がいます。(→p.48) ( **カ** )
- ⑤税について相談している人がいます。(→p.54) ( **エ** )
- ⑥選挙に立候補している人がいます。(→p.53) ( **ア** )

各部の冒頭に、イラストの導入ページを設置しています。イラストを探すことで、その部で学習する内容をイメージできます。

原寸大

小学校との関連 憲法と私たちの生活

小学校で学習したように、私たちの暮らしのさまざまなまじりの大もとが日本国憲法です。日本

国民主権  
国民が国の政治の在り方を決める  
平和主義  
戦争を放棄し、戦力を持たない  
尊重  
理由だけで持つべき権利

**！ポイント**  
「やってみよう」の発問とイラスト中のア～カの記号をリンクさせ、重要な場面を読み取りやすくしています。

第2部1章を見よう

日本国憲法では、基本的な人権(人権)について、多くの条文を設けています。イラストの例のように、自分の意見を自由に表現することや、選挙に立候補することなど、私たちが当たり前と思うことでも、憲法により人権として保障されています。そして、国や地方公共団体は具体的に人権が保障されるよう、取り組んでいます。第2部1章では、現代社会の政治を成り立たせている基本的な考え方や、それらを日本国憲法はどうか反映しているかを学習してみよう。





# 実社会に興味をもたせ、「学び心」を引き出す導入 学習する内容を概観する「学習の前に」

## ポイント

現代社会単元の「学習の前に」で学べること

40年前と現代を比較し、社会の変化に気が付けるようにしています。

- ①少子高齢化 → ウ ウ 校庭にいる子どもの数が減少しています。 →教科書p.7-8
- ②情報化 → ア ア 公衆電話が減り、スマートフォンが使用されています。 →教科書p.3-4
- ③グローバル化 → イ イ 駅名の表示に英語が加わり、外国人への対応が進んでいます。 →教科書p.5-6

## 「学習の前に」掲載箇所一覧 (5テーマ)

部	分野	タイトル	教科書掲載ページ
第1部	現代社会	40年前と今の社会を比較してみよう	p.1-2
第2部	政治	私たちの暮らしと憲法の関係を見てみよう	p.27-28
		みんなが暮らしやすい社会をつくってみよう	p.65-66
第3部	経済	身の回りの暮らしと経済について見てみよう	p.107-108
第4部	国際	「持続可能な社会」を目指していくために	p.171-172

本資料 p.5-6

## さくいんグリッド

地図帳のさくいん記号のように、記号を使って位置を伝えることができます。

## 第1部 学習の前に 40年前と今の社会を比較してみよう

### やってみよう

「はるの市」の「二度見駅」周辺のまち並みは、この40年間で大きく変化しました。イラスト内のア～ウ、ア～ウは大きく変わった場所を表しています。次の場面はイラスト内のア～ウのどれにあたるか、( )に記号を入れてみよう。

- ①少子高齢化(子どもの数が減少し高齢者の割合が増えていくこと)に関わる場面(→p.7~8) ( )
- ②情報化(情報を手に入れる手段が増えていくこと)に関わる場面(→p.3~4) ( )
- ③グローバル化(外国との結び付きが深まっていくこと)に関わる場面(→p.5~6) ( )

小学校との関連 現代社会と私たちの生活

小学校で学習したように、現代の社会では、高齢者の割合が増える一方で子どもの数が減ったり、情報を手に入れる手段が増えたり、外国との結び付きが深まったりする変化が見られます。

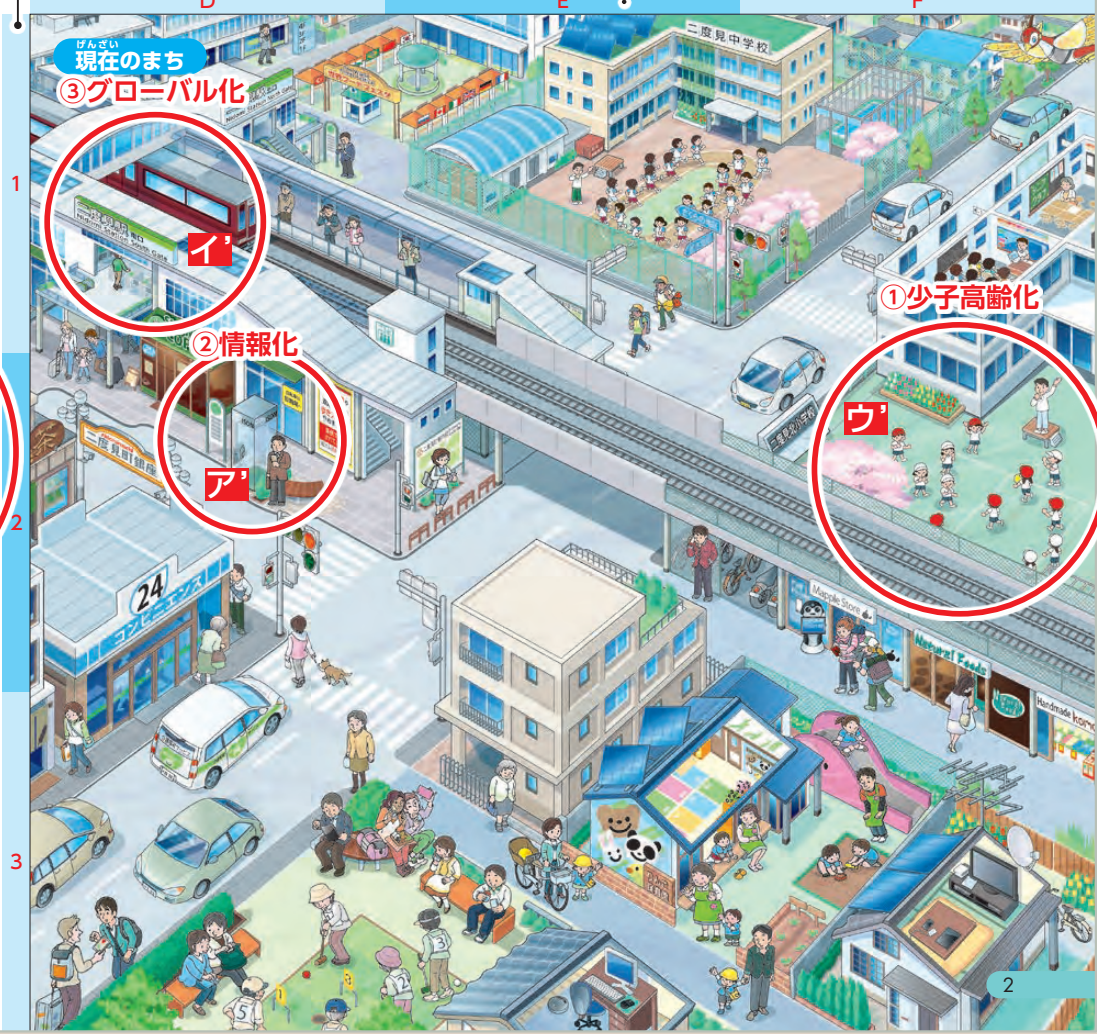
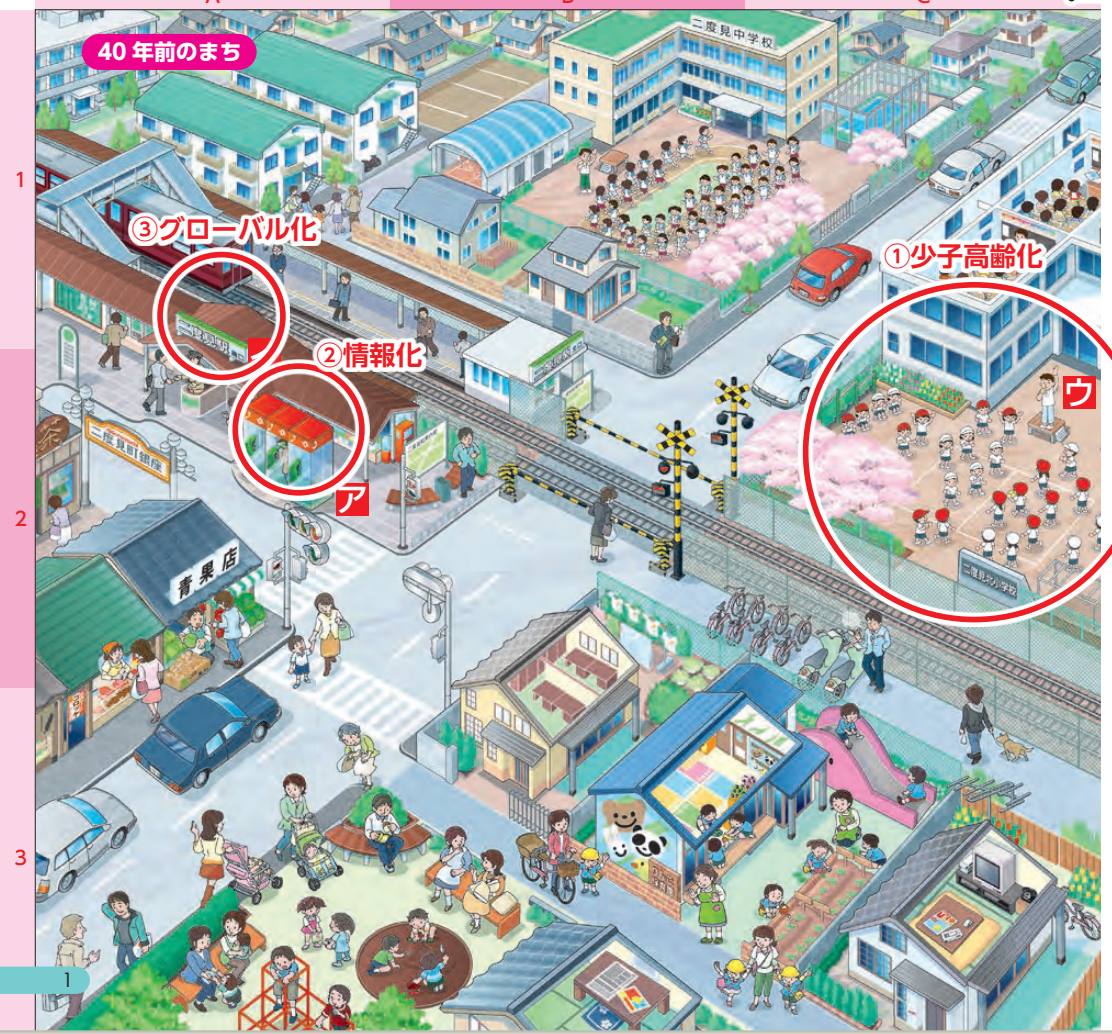


外国人旅行者でにぎわう成田空港

第1部を見通そう

40年前、すなわち1980年代前半は昭和の終わり頃で、社会が大きく変わり始めた時代でした。今日では、将来にわたって成長・成熟していきけるような、新たな社会のしくみを考えていくことが求められています。

第1部では、現代の日本の特色や、私たちの生活を形づくってきた文化の意義・影響を理解するとともに、現代社会をとらえる枠組みについて学習してみよう。



## 本文との関連(アに関して)

●本文にある過去と現在を比較する内容を「学習の前に」のイラストでも確認できます。

情報化とは 友達と連絡を取るとき、かつては手紙や自宅の固定電話、公衆電話を利用するか、直接会うしかありませんでした。しかし、今の私たちは、スマートフォン1台で電話やメールだけでなく、ソーシャルメディアを利用した写真や動画のやり取りもできます。また、必要な情報の入手や、商品の購入や予約なども、インターネットを通じて簡単に行うことができます。

▶p.3

●本文のページの下部に「学習の前に」を振り返る を設置しています。本文と関連付けることで本文の理解が深まります。

力(情報リテラシー)を養うことが、ますます、  
p.1-2 「学習の前に」を振り返る ▶自動改札(D-1),

▶p.4

## 資料との関連(ウに関して)

「学習の前に」と関連した実社会の資料を、本文のページに掲載しています。



▶p.7 ある中学校の全校生徒 生徒数の減少(少子化)が読み取れます。

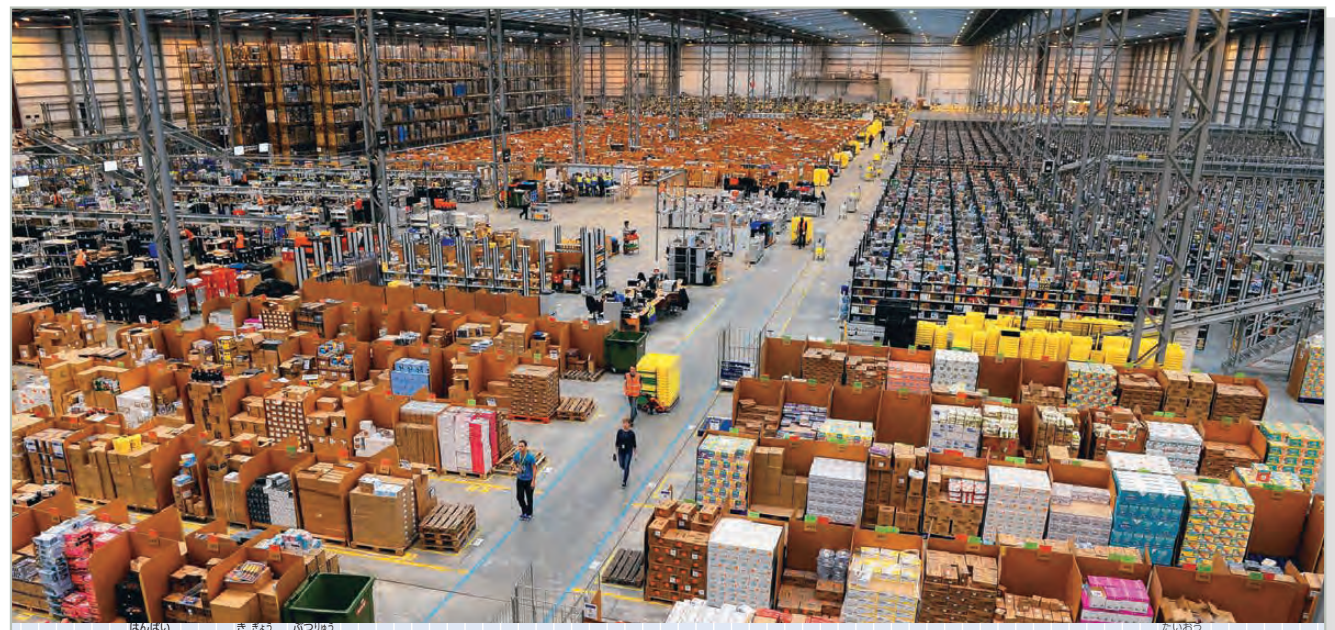
▶p.1-2



特色 1 実社会に興味をもたせ、「学び心」を引き出す導入  
臨場感のある導入資料

A 迫力のあるワイドな写真

▶ ネット通販の大規模な倉庫の様子から、驚きをもって流通の変化の学習につなげられます。 p.119



通信販売を行う企業の物流センター（イギリス） このセンターでは、インターネットを通じて世界各地からの注文に対応しています。  
資料活用 …インターネットを利用した通信販売により、私たちの消費生活はどのように変化しているのだろうか。

▶ 同世代の子どもたちへの国連児童基金 (UNICEF) の活動から、親近感をもって国際連合の学習につなげられます。 p.177



通学かばんや文房具を受け取る子どもたち（アフガニスタン） 国連児童基金（ユニセフ）は国際連合の一機関で、児童（子ども）の権利に関する条約に基づき、子どもが健やかに育つ環境を確保するために世界中で活動しています。質の高い教育を広く確保することはSDGs（→p.195）の取り組みの一つです。  
資料活用 …UNICEFは、どのような活動をしているのだろうか。

各見開きの導入資料は、迫力あるワイドな写真や生徒に身近な事例を取り扱うようにしています。実感がともなうため、本文の理解が容易になります。

B 学習内容を直感的に理解できるイラスト

▶ 保険証に関する身近な生活の一場面から、「自分事」として社会保障の学習につなげられます。 p.165



C 関連する身近な事例

▶ 身近な「アイスクリーム」の表示から、興味関心をもって消費者の学習につなげられます。 p.121



表示が異なる理由  
私たちがふだん目にしてる「アイスクリーム」の表示には一定の基準があり、乳成分の量が多い順に、アイスクリーム、アイスマルク、ラクトアيسの三つに分類されています。このような表示は法律を基に定められているもので、消費者が商品を選択するときの情報の一つとして役立てられています。

	乳固形分	うち乳脂肪分
アイスクリーム	15% 以上	8% 以上
アイスマルク	10% 以上	3% 以上
ラクトアيس	3% 以上	—

資料活用 …なぜ写真の○部分の表示が異なるのだろうか。

「アイスクリーム」の表示（左）とその基準（上）



# 2 社会参画への意識を高める内容 政治参加の大切さを実感できる工夫

p.99-100



## ポイント

中学生も参加する「少年議会」の事例を紹介し、政治参加への関心を高められるようにしています。

## 少年議会(山形県遊佐町)

山形県遊佐町では、若者の力によるまちづくりを目指し、2003年度から少年議会が開催されています。遊佐町在住・在学の中高生から「少年町長」1名と「少年議員」10名が、町内の中高生による投票で選ばれます。議員たちは定期的に議会を開き、45万円の独自予算を持ち、提言をまちの政策に反映させることができます。



製作したベンチの設置(2017年)

少年議会の様子(2017年) まちづくり企画のためのワークショップ、ベンチの製作・設置、フォトコンテストなどの政策を実現しました。

資料活用…少年議会は、若者の政治参加においてどのような意味があるのだろうか。

## 4 私たちと政治参加

### 学習課題

私たちは、どのような方法で政治に参加することができるのだろうか。

### 若者の政治離れはなぜ問題か

これまで、国や地方の政治と私たちの関わりについて学んできました。しかし近年、若者の間で政治に対する無関心が広がっているといわれます。近年の選挙では、若い世代の投票率が他の世代より低い傾向が続いています。

若者の多くが投票を棄権していると、政治家は投票する人の多い年長の世代が抱える問題を優先して取り組むようになるかもしれません。近年急速に進む少子高齢化によって、日本の人口に占める若者の割合は減り続けています。若者の意見を政治に反映していくためには、今まで以上に積極的な政治参加が求められています。

そうしたなか、2015(平成27)年6月に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。

### 有権者の選択で政治は変わる

みなさんは、たった一人の意見では政治に影響がないと思うかもしれません。日本の若者は世界の若者と比べて、政治に対する関心が低いという調査もあります。

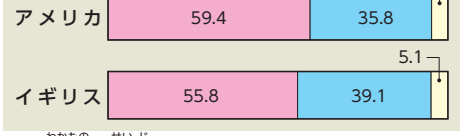
しかし民主政治の下では、世論の支持がなければ政治を行うことはできません。2009年と12年の衆議院議員選挙では、有権者の選択によって、政権が交代しました。また、中学生の請願活動に

	制度あり	制度なし
間接的	選挙(→p.75)	圧力団体(→p.74)
直接的	国民審査(→p.60,88) 憲法改正の国民投票(→p.62) 直接請求権(→p.96)	住民運動(→p.96)

さまざまな政治参加の方法

## ポイント

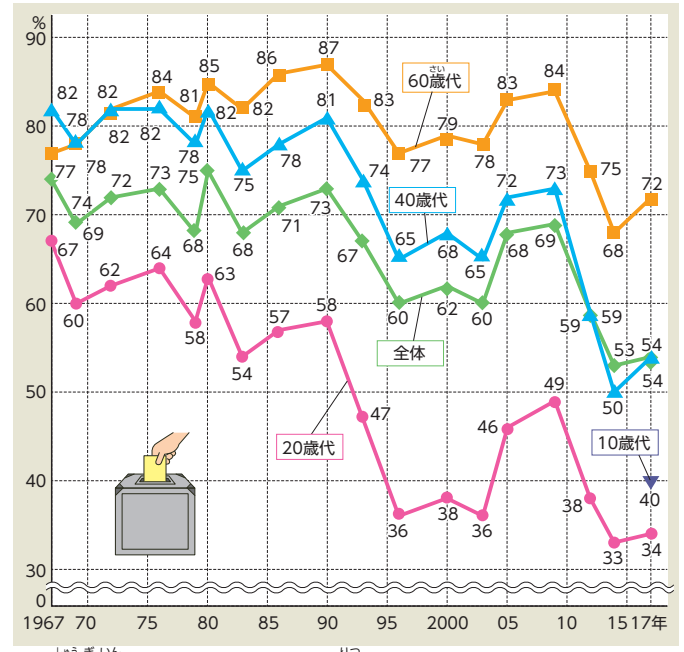
若者が投票を棄権すれば若者の声が政治に反映されにくくなることから、若者の政治参加が大切なことを解説しています。



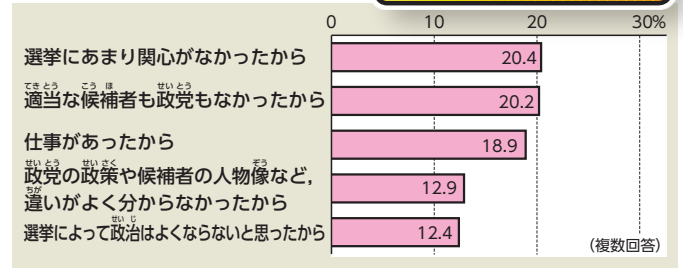
若者の政治に対する関心度(2013年)(内閣府資料)

## 原寸大

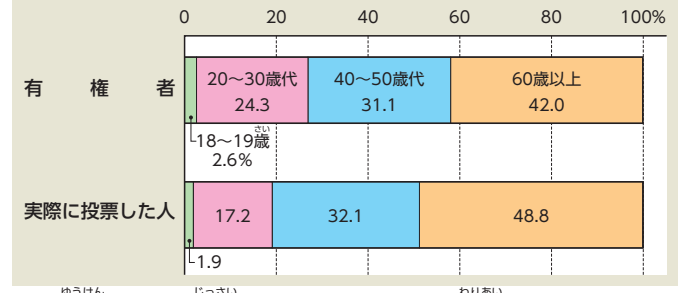
政治単元の最後の見開きでは、政治参加の大切さについて本文で解説することで、社会参画の大切さを考えられるようにしています。



衆議院議員選挙の年代別投票率(明るい選挙推進協会資料)



投票に行かなかった理由(2017年)(明るい選挙推進協会資料)



有権者および実際に投票した人の年代別割合(2017年)(総務省資料) 資料活用 割合が異なるのはなぜだろうか。

よって路上喫煙禁止条例が制定された例や、市町村合併の是非を問う住民投票に中学生も投票したという例もあります。私たちが積極的に政治参加することによって、社会を変えていく力があることを自覚しましょう。

5 私たちが決める これからの政治 民主主義においては、選挙の日に一票を投じることはもちろん、これまで学んださまざまな方法で、主権者としての意思を政治に反映できます。

中学生にとっては、今すぐ政治に参加し、取り組める場面は少ないかもしれませんが、私たちの身の回りには、意見が対立する社会的な問題が多く存在しています。私たちは個人の尊重や法の支配といった考え方を大切にしながら、こうした対立を調整して合意を作り、問題を解決していくことが求められています。これから

15 日本の政治の未来は、私たち自身の意思決定によって決まります。よりよい社会を実現していくための政治の在り方やしくみ、また私たち自身がどのように政治に参加していくべきなのかについて、学習してきたことを基にしながら、自分なりに考えてみましょう。

## ポイント

グラフから若者の投票率低下を読み取ることで、若者の政治的無関心が現実の政治に与える影響について考えることを促します。



中学生も投票した住民投票(2003年)長野県平谷村では、他市町村との合併を巡って、全国で初めて中学生以上の村民を対象とした住民投票が行われました。

## ポイント

社会参画や政治参加について、自分なりに考えることの大切さを語りかけています。

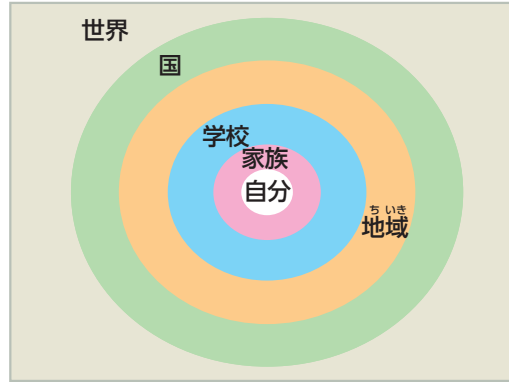
第3節の問いを振り返ろう p.93~100 地方自治や民主政治を発展させるために、私たちがすべき政治参加について、今できることと、将来すべきことに分けて構想してみよう。



# 特色 2 社会参画への意識を高める内容 それぞれの単元で社会参画を追究

## 1 第1部「現代社会」では

▶ 家族や地域社会の役割をしっかりと解説することで、人間は一人では生きていけない「社会的存在」であることを理解することで、家族や地域社会を構成する一個人としての社会参画への意識を育めるようにしています。



▶ p.18 社会集団の例

**社会的存在としての私たち** 私たちは、かけがえのない一人の人間ですが、一人では生きていけません。家族や地域社会、国、世界などさまざまな社会集団の中で人々となつたり、助け合い、互いを尊重しながら共に生きています。このようなことから、人間は社会的存在といわれています。

**私たちと家族・地域社会** 私たちにとって家族とは、最も基礎的な社会集団です。私たちは家族との「団らん」のなかで「休息や安らぎ」を得て、明日への活動の精神的な力を養っています。また、言葉や社会習慣、社会のルールを学び、愛情や道徳など人間の在り方を身につけます。家事、育児、家族の看病や介護といったものも、互いの存在を大切なものとして支え合うという大切な家族の役割です。こうして、家族という集団は、個人が社会の一員として成長していくために大きな役割を果たしています。

また、私たちは、住民どうしが協力し合いながら生活する地域社会の中でも暮らしています。地域社会を支える自治会や消防団、子ども会などの組織は地域住民によって運営され、防災など私たちの社会生活をよりよいものにするための重要な活動を行っています。

▶ p.18

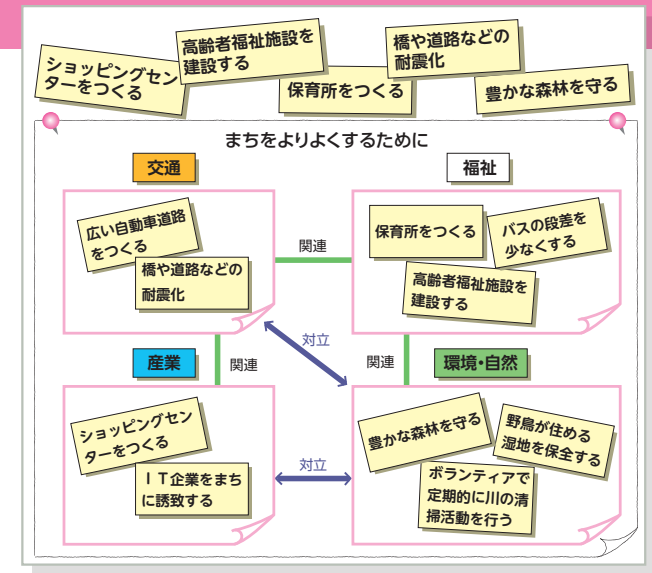
## 2 第2部「政治」では

▶ 社会の変化をふまえて、自分の住むまちをよくする方法を考えることで、住民としてまちづくりへの参画意識を高められるようにしています。

**社会の変化と地方自治** 近年、少子高齢化や大都市への人口流出などによって、税収が落ち込み、活力が失われつつある地方公共団体が増えており、大きな課題となっています。

それぞれの地方公共団体は、将来にわたって持続可能なまちを目指して、子育ての支援や高齢者向けの福祉を充実させたり、防災や減災に取り組んだりすることによって、住民がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めることが求められています。

▶ p.98



▶ p.101 KJ法でまとめた例

## 3 第3部「経済」では

▶ 働くことの意義の解説や、障がいのある人も得意分野を生かして働いている事例を通じて、自分の将来の職業生活を考えることで、社会参画への意識を高められるようにしています。

**働くことの意義** 私たちは働くことでお金を稼ぎ、自分や家族の生活を支えます。しかし、それだけが働くことの意義ではありません。例えば、バスを運転する人がいることで私たちがバスを利用できるように、それぞれの職業で働く人が分業することで、社会が成り立っています。社会となつたり、社会の支え手になることは、私たちの生きがいや充実感にもつながります。

▶ p.137

### 未来に向けて 人権 障がいがあっても働ける場を(神奈川県川崎市)

学校で使うチョークなどを製造・販売するN社は、従業員の7割以上が知的障がいのある人です。N社ではそれぞれの理解力に合わせて、作業工程を工夫・改善しています。例えば、チョークを入れるだけで品質検査が可能な器具を用いるなどして、社員の能力を引き出す環境づくりに努めています。

#### 声 障がい者雇用を促進する経営者の声

知的障がいのある社員がいつも高いレベルで安定した仕事をしているので、1日平均12万本のチョークの生産が可能になっています。人には、得意分野・不得意分野があります。仮にできないことがあったなら、できる人が代わりにやればよいのです。一人一人にできることがあるということが伝われば、障がい者雇用も広がっていくと思います。



▶ N社の職場の様子 知的障がいのある社員が、生産ラインのほとんどを担っています。

▶ p.138

## 4 第4部「国際」では

▶ 国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)と私たちの関わりを解説することで、「持続可能な社会」の実現に向けた社会参画への意識を高められるようにしています。

**SDGsと私たち** この教科書の第2部では、男女の平等や教育を受ける権利などについて学習してきました。第3部では、労働者の権利や技術革新(イノベーション)の推進などについて学習してきました。これらもSDGsに含まれています。

SDGsの達成には、私たち自身の取り組みも重要です。よりよい国際社会を実現するためには、まず世界の諸課題の現状や背景を知り、関心を持ち続けることが大切です。中学生の今できることは限られていても、将来取り組めることもあるでしょう。SDGsを達成して「持続可能な社会」を実現していくために、今できること、将来してみたいことを、自分なりに考えてみましょう。

▶ p.196



▶ 国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標

▶ p.195 国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標



# 社会参画への意識を高める内容 積極的な社会参画を促す豊富な具体事例

## A 「よりよい社会を目指して」

▶ 人権保障や環境保全、防災など、日本各地で行われている社会の課題への取り組みを紹介し、生徒が社会参画について具体的にイメージできるようにしています。



▶ p.197 稲城市による多摩川清掃活動

### 「よりよい社会を目指して」掲載箇所一覧(5テーマ)

分野	タイトル	掲載している地域	教科書掲載ページ
巻頭	よりよい社会を目指して	熊本県益城町, 沖縄県那覇市, 神奈川県相模原市, 宮城県岩沼市	巻頭1-2
政治	偏見や差別をなくすために	愛知県一宮市, 東京都東村山市	p.49-50
経済	日本経済の発展に必要なこと	石川県小松市, 大阪府東大阪市	p.153
国際	地球環境問題, 資源・エネルギー問題の解決に向けて	福島県, 東京都・神奈川県, 神奈川県横浜市, 沖縄県宮古島市	p.197-198
巻末	防災・減災を通じた社会参画	兵庫県神戸市	巻末2-3

## B 「未来に向けて」

▶ これからの社会が直面する課題を考える際の参考になる、「グローバル化」「少子高齢化」「人権」「情報化」に関する取り組みを紹介しています。

### 「未来に向けて」掲載箇所一覧(12テーマ)

観点	タイトル	教科書掲載ページ
グローバル化	外国人と共に生きる社会	p.6
少子高齢化	子どもと高齢者が共に過ごす	p.8
	「長寿と健康」による医療費の削減	p.166
人権	中学生が実践した民主主義	p.30
	アイス語への思い	p.48
	肝炎患者を救うために	p.68
	障がいがあっても働ける場を	p.138
	水俣病患者としての認定を求めて マララさんが訴える子どもたちの「教育を受ける権利」	p.196
情報化	政治の動きを伝えるために	p.70
	家計簿アプリでお金を「見える化」	p.132
	ビッグデータを生かした経営戦略	p.136

**未来に向けて**

**人権** マララさんが訴える子どもたちの「教育を受ける権利」

**マララさんの訴え**  
すべての子どもたちに「教育を受ける権利」を保障してください。1人の子供も、1人の教師、1冊の本、1本のペンでも世界は変えられます。無学、貧困、テロリズムと戦いましょう。教育こそがただ一つの解決策です。

**パキスタンでは、女性が教育を受けたり、社会進出したりすることを否定する人々の影響により、女性の就学率が世界的にも低い状況にあります。こうしたなか、マララ・ユスフザイさんは、女性が教育を受ける権利を求めました。しかし、2012年、15歳のときに眼を盲で撃たれけがを負いました。その後マララさんはけがから回復し、国連総会(→p.178)ですべての子どもが教育を受ける権利を得られるよう演説を行いました。この演説は大きな反響を呼び、マララさんは14年にノーベル平和賞を受賞しました。その後15年にはみずから寄付でシリアにあるシリア難民キャンプに学校を造り、18年には空襲パキスタンにも参りました。**

▶ p.196

国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」に関連が深いテーマには、タイトルにSDGマークを付けています。

## C 「先輩たちの選択」

▶ さまざまな分野で活躍する「先輩たち」からのメッセージを取り上げています。自分自身の将来進むべき道を考えるきっかけとなるようにしています。

**先輩たちの選択**  
民主主義の実現  
民主主義を広めるために  
世の中の現状を伝えたい

池上彰さん  
1950年、長野県出身

**Q** 民主主義はどういうものと考えていますか？

ただ民主的な選挙があればそれで民主主義ってなるわけではない。選挙は大事なんだけど、常に、人々があらゆる情報をきちっと得ることができて、一人一人の人が自分の頭で考えて、判断することができる。そういう人たちがいてこそ民主主義っていうのは成り立つのかな。

▶ テレビ番組でニュースを解説する池上さん

**Q** 18歳で選挙権を持つ中学生にメッセージをお願いします。

今から、君たちが若い力で政治を動かすことができるんだってことを示せば、政治家たちも君たちのほうを振り向いてくれる。そのための力を付けましょう。

もう一つは、世の中のことに興味を持ち、政治について関心を持つことで、自分はどう生きるべきかっていうことを考える。そのきっかけにしてください。

▶ p.104 ジャーナリスト 池上彰さん

**先輩たちの選択**  
文化の継承と創造の意義  
伝統を受け継ぎアップデートしていく

野村萬齋さん  
1966年、東京都出身

私もその中に入っていきますけれども、お年寄りが増えて、日本という国も地球という星も年をとってくる可能性がある。そういう社会で、皆さんがどういうふうな力を発揮していただけるかと期待したいし、お願いしたい。何か若返る活力というが、皆さんが地球にも、日本の国にも栄養を与えてほしい。世界中にももっと栄養が必要かなという気がします。

▶ インタビューの様子(2018年)

▶ p.13-14 狂言師 野村萬齋さん

**先輩たちの選択**  
よりよい国際社会の実現  
「誰も取り残さない」社会をつくりたい

宮原麻季さん  
1985年、埼玉県出身

**Q** シャプラニールでのお仕事を通じて、どういった社会を実現していきたいとお考えですか？

「すべての人が持つ豊かな可能性が開花する社会」をつくりたいです。そのために、貧困を解決し、SDGsの理念に通じる「誰も取り残さない」ことを使命に活動しています。学校建設や井戸掘りなど、別の分野で深い知識を持っている他のNGOや市民団体などと情報を共有したり、行政を巻き込んで一緒に取り組んでもらったりすることも、目標を達成するうえでは大事なことだと考えています。

▶ 手すき紙を作る女性

**Q** 中学生にメッセージをお願いします。

世界はとっても広いです。ぜひいろんな国に行ってみたり、もしくは行かなくても、自分の身近にいる外国の方と接してみたりして、自分と違うということをまず分かってほしいと思います。分かったうえで、「違うから嫌だ」とか「違うから話したくない」とか「違うから私たちのほうがすごい」とか思わずに、「へえ違うんだ、それってどうして」と思うようになってほしいです。ぜひ違うことを楽しんでほしいし、そのことがその人が住む国やその人自身を知ることにもつながると思います。

▶ p.200 シャプラニール=市民による海外協力の会 宮原麻季さん

### 「先輩たちの選択」掲載箇所一覧(6テーマ)

単元	職業	お名前(敬称略)	タイトル	教科書掲載ページ
現代社会	狂言師	野村萬齋	伝統を受け継ぎアップデートしていく	p.13-14
政治	国会議員	(A議員)	企業経営の経験を生かし日本の政治を変えていきたい	p.85-86
	ジャーナリスト	池上彰	民主主義を広めるために世の中の現状を伝えたい	p.104
経済	酪農家	石田陽一	おいしい牛乳を作ってみんなを喜ばせたい	p.154
国際	国連職員	焼家直絵	「本物の国連職員」として飢餓のない世界をつくりたい	p.199
	NGO職員	宮原麻季	「誰も取り残さない」社会をつくりたい	p.200



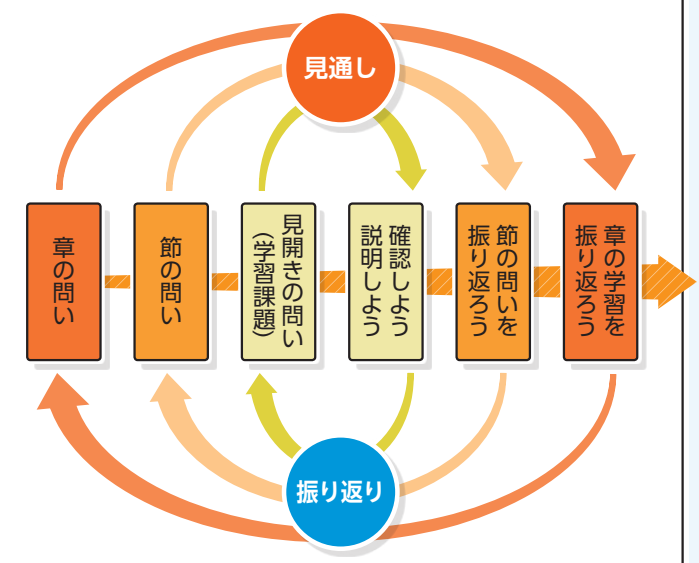
# 特色③ 深い学びにつながる「問い」 見通し・振り返り学習がしやすい構造

①章・節の構造

特色③では、見通し・振り返り学習がしやすい「問い」の構造について説明しています。  
この構造により、単元のまとまりで課題解決的な学習ができ、「深い学び」につながります。

## 見通し・振り返り学習を積み重ねて 深い学びの実現へ

### 深い学びにつながる「問い」の構造の 全体イメージ



本教科書は、現代社会、政治、経済、国際という四つの部のそれぞれを、章・節・見開きという三段階で構成しています。例えば経済の章は市場経済、財政といった内容のまとまりを、節は消費者、企業など章を構成する内容を、見開きは節を構成する毎時間の学習内容になっています。

そして章・節・見開きには問いと振り返りを設け、それぞれのなかで見通し・振り返り学習ができるようにしています。このように見開きから節へ、節から章へと見通し・振り返り学習を積み重ねていき、章の最後の「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い」(課題)を自分なりに追究していくことができる構成になっています。

## ポイント

### 章と節の 関係イメージ

各節の「節の問い」の積み重ねが「章の問い」の追究につながります。



## 章の問い

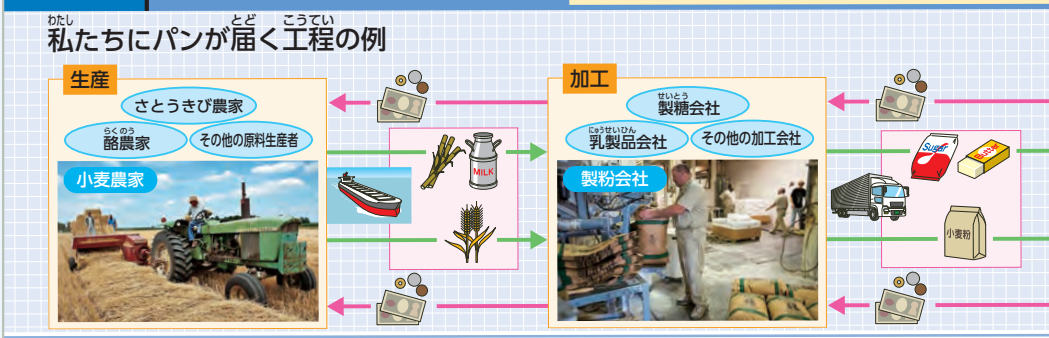
▶章のはじめには「章の問い」を設けています。この単元を貫く問いを明示することで見通しをもって学習に取り組みます。

## 第3部第1章 市場経済

章の問い 私たちの社会を豊かにするためには、経済にはどのような働きが求められるのだろうか。

## 第3部 経済 第1章 市場経済

第1節 私たちの生活と経済 第1節の問い なぜ市場経済というしくみがあるのだろうか。 p.109~116



## 1 経済活動と お金の役割



身の回りにあるモノやサービスの例  
資料活用 ほかにどのようなモノやサービスがあるか挙げてみよう。

学習課題 私たちの生活の中で、経済活動はどのような役割を果たしているのだろうか。

経済活動とは あなたはおなかをすいて、パン屋さんからパンを買ったとしましょう。このことを消費といいます。また、パン屋さんは原料を買って、パンを作って売ります。このことを生産といいます。そして、モノだけではなく、髪をカットしてもらうなどのサービスも生産され、消費されます。このように、私たちの周りではお金を使ってさまざまな商品(モノやサービス)が生産され、消費されています。この生産と消費を中心とする人間の活動を経済(経済活動)といいます。

経済を支える分業 あなたがパン屋さんで買ったパンが作られる工程、つまり、多くの人が異なる役割を分担しながら商品を作り上げていくことを分業といいます。

例えば、無人島で生活するように、一人ですべてをこなすのは、簡単ではありません。同様に、パン屋さんがパンの製造や販売だけでなく、小麦やさとうきびの生産までもこなすのは難しいでしょう。分業によって、それぞれの人が得意な仕事に専念し、一生懸命働くことで、大量に品質のよい商品を生産できるようになるのです。それに、農家も、製粉会社も、パン屋さんも、自分が作った大量

## 節の問い

▶章のなかの各節のはじめには「節の問い」を設けています。節ごとに到達目標を明示して、見通しをもって学習に取り組みます。

第3節の問い p.127~142

経済活動を活発にしていけるために、企業はどのような役割や責任を果たすべきなのだろうか。

## 第3節 企業と経済

第3節の問い p.127~142

経済活動を活発にしていけるために、企業はどのような役割や責任を果たすべきなのだろうか。



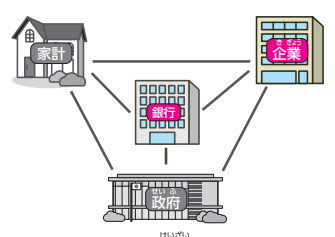
### 普及が進む電気自動車 (神奈川県横浜市)

電気自動車は走行中に二酸化炭素を排出しないため、環境に優しいことで注目されています。近年、電気自動車の販売台数は急速に増加しています。2017年には全世界での販売台数が100万台を超えました。

資料活用 …電気自動車が普及すれば、社会にどのような変化が起こるのだろうか。

電気自動車(神奈川県横浜市)

## 1 私たちの 生活と企業



この節で学習する経済主体

企業とは何か 私たちの身のまわりには、さまざまな商品(モノやサービス)があふれています。これらを生産している組織や個人を、企業(生産者)とよびます。生産には労働が必要なことから、企業は人々に働く場(雇用)を提供しています。企業は、新たな商品の開発・生産や、技術の開発などといった技術革新(イノベーション)にも取り組んでいます。近年ではインターネットが普及したことで、買い物やコミュニケーションが便利になりました。技術革新は、企業が果たす重要な役割であり、社会の発展にもつながるのです。

### 技術革新(イノベーション)

新たな商品の開発・生産や、技術の開発(技術革新)のほかにも、生産方法の導入や市場の開拓、仕入れ先の獲得、組織の構築などを新たに行うことが含まれます。

学習課題 企業は経済活動においてどのような役割を果たし、どのような目的で活動しているのだろうか。

私たちが、消費者として企業が生産した商品を購入するとともに、多くの人が企業で働いて、これらの生産に関わりつつ給与を得ています。こうして私たち消費者は、企業と「分業と交換」を行っているといえます。

そして、企業どうの間でも「分業と交換」が行われています。例えば、自動車を作る企業であれば、必要な部品はその生産を専門とする企業から購入して、みずからは部品を組み立て、自動車造ることに特化する方法が効率的です。これにより、消費者はよりよい

私たちは、消費者として企業が生産した商品を購入するとともに、多くの人が企業で働いて、これらの生産に関わりつつ給与を得ています。こうして私たち消費者は、企業と「分業と交換」を行っているといえます。

そして、企業どうの間でも「分業と交換」が行われています。例えば、自動車を作る企業であれば、必要な部品はその生産を専門とする企業から購入して、みずからは部品を組み立て、自動車造ることに特化する方法が効率的です。これにより、消費者はよりよい



# 深い学びにつながる「問い」 見通し・振り返り学習がしやすい構造

②見開きの構造

見開き単位でも見通し・振り返り学習がしやすい構造になっています。  
各見開きの学習を積み重ねて、章を構成する各節の「節の問い」の追究につながります。

章の問い 私たちの社会を豊かにするためには、経済にはどのような働きが求められるのだろうか。

第3節の問い p.127~142

経済活動を活発にしていくために、企業はどのような役割や責任を果たすべきなのだろうか。

第3節の問いを振り返ろう p.127~142

経済活動において企業が果たす役割や責任について、「消費者」「従業員」「国際社会」という言葉を用いて説明してみよう。

## 節の問いを振り返ろう

▶「節の問い」を受けて各節の最後に設置しています。  
学んだことを説明する形で振り返ることができます。

### 第3章第3節を例に

学習課題  
▶「節の問い」に対応した学習課題を設置しています。見開きの学習内容を見通す問いです。

ポイント  
節と見開きの関係イメージ  
各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」でつづいた学習内容の積み重ねが「節の問い」の追究につながります。



1 被災地で牛丼の炊き出しを行うY社(熊本県益城町) 2016年に発生した熊本地震に際しては、行政や市民だけでなく、数多くの企業からも、食料の提供など企業の業務内容を生かした支援が行われました。  
資料活用…企業が被災地の支援を行う意義はどこにあるのだろうか。

## 7 企業の社会的責任

- 1 職場内での立場などを利用したいやがらせをするパワーハラスメントへの対策も重視されてきています。
- 2 企業の社会的責任のことを、英語のCorporate Social Responsibilityの頭文字をとってCSRともよびます。



2 大規模災害を想定した避難訓練(栃木県宇都宮市、2019年) 地域住民だけでなく、鉄道会社の社員も参加するなど、行政と協力して行われました。大規模災害の際に従業員の安全を確保し、被災者の救援に協力することも企業の社会的責任です。

現代の社会において、企業にはどのような責任が求められるのだろうか。

**企業の義務と社会的責任**  
企業は、よりよい商品を安く提供して消費者の生活を豊かにする役割を担っています。そして企業は、利益の追求を目的に活動していますが、法律を守るという義務を果たすことは当然必要です。例えば、低賃金で長時間労働をさせたり、性別を理由にいやがらせをするセクシャルハラスメントへの対策をとらなかつたりすることは、法律違反にあたります。

また、企業はさまざまな**社会的責任**を果たしています。その一つが、働きやすい職場環境の整備などといった、従業員への責任です。例えば、従業員が健康に働けるようになれば、やる気や集中力が高まり、労働時間あたりの成果(生産性)の向上が期待できます。そのため、労働時間の削減と合わせて、健康診断や生活習慣の改善など従業員の健康管理に努めることを、経営面での課題ととらえて、実際に従業員の健康づくりに取り組む企業が増えています。

**市場への責任**  
企業は、株主をはじめとする投資家に対しても責任を負っており、資金の流れ、売り上げや利益などといった経営状況などを、投資家に正しく報告する義務があります。これらの情報を基に、投資家はどの企業に投資する(資金を

## 公民プラス 音楽に出会う喜びを(長野県松本市)

企業の中には、音楽コンサートの開催のための資金の一部を提供するなど、芸術・文化の支援活動を行う企業もあります。こうした取り組みは、メセナとよばれます。



3 「セイジ・オザワ松本フェスティバル」(長野県松本市、2016年) 世界中から音楽家を集め、毎年開かれています。

出す)かを決めています。もしも、ある企業が売り上げや利益をごまかせば、他の企業もそうではないかという不信感が投資家の間に広がり、市場全体で投資が滞ります。すると、技術革新が期待できる有望な企業であっても資金が集めにくくなることから、企業側からの正しい情報提供が求められています。

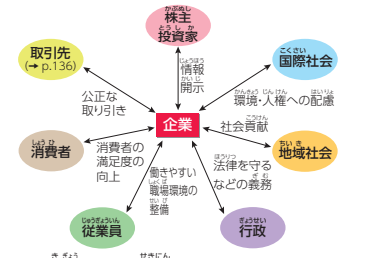
**国際社会への責任**  
企業には、国際社会への責任もあります。海外で生産を行う際に、低賃金で長時間労働をさせたり、子どもを働かせたりすることなどは、日本国内と同様に人権侵害にあたります。また、生産の際に汚染物質を排出したり、資源を大量に使ったりすることは、「環境に優しい」企業活動とはいえません。近年では、ESG投資として、人権や環境への配慮が不十分な企業に投資しないという動きも見られます。そうした企業には資金が集まらず、生産を続けにくくなります。企業も国際社会の一員として、人権や環境への配慮が求められています。

## パン屋を起業しよう⑦ ~「食品ロス」ゼロを目指すには?~

売れ残ったパンは日持ちがするものを除き、その多くが捨てられています。こうした「食品ロス」を極力ゼロに近づけるためには、どのようなことを大切にすべきでしょうか。あなたの選択とその理由は?

A: 消費期限が近づくにつれて、段階的に値下げして商品を売り切る  
B: パンの種類を絞り、日持ちがするパンだけを販売する  
C: 数量限定で販売し、売り切れしだい、その日は営業を終了する  
D: その他

Cの場合  
長所: 「食品ロス」をゼロに近づけられる  
短所: 販売数が少なくなれば、売り上げも減る



4 企業の社会的責任の例 企業には、みずからに関わりのあるすべての人々や社会への積極的な貢献が求められています。

5 労働者が働きやすい職場環境を作るために、企業が従業員に給与以外の現金を給付したり、サービスを提供したりすることを福利厚生といえます。具体的には、社会保険料の一部負担、家賃の補助、レクリエーション活動への支援など、さまざまな種類があります。

## 解説 ESG投資

環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)に取り組む企業に対して積極的に投資をしたり、配慮が不十分な企業に投資をしないことをいいます。それぞれの頭文字をとってESG投資とよばれます。ESGの観点で高い評価を得る企業は、「持続可能な社会」(→p.203)づくりに貢献しているとも考えられ、こうした投資が、結果的に「持続可能な社会」の実現につながることも期待されています。

環境 (Environment)	・二酸化炭素の排出削減 ・水資源や生物多様性の保全など
社会 (Social)	・労働環境の改善 ・女性の活躍推進 ・地域社会への貢献 など
企業統治 (Governance)	・法律を守るなどの義務 ・積極的な情報開示 など

確認しよう 企業の社会的責任にはどのようなものがあるか、本文から三つ書き出してみよう。

説明しよう 企業にとって、人権や環境に配慮する意義を、説明してみよう。

## 確認しよう

▶学習内容を振り返り、本文の中から学習上大切な事項を書き出す作業です。正しく文章を読む力(読解力)を養い、知識の確実な習得を促します。

## 説明しよう

▶学習内容を振り返り、習得した知識を活用して言語活動につながる問いです。思考力、判断力、表現力の育成を促します。

第3節の問いを振り返ろう p.127~142

経済活動において企業が果たす役割や責任について、「消費者」「従業員」「国際社会」という言葉を用いて説明してみよう。

142



# 深い学びにつながる「問い」

見通し・振り返り学習がしやすい構造 ③「章の学習を振り返ろう」

## 章の学習を振り返ろう

▶「章の問い」を受けて章末に設置しています。思考力・判断力・表現力を用いた課題での振り返りを行い、「深い学び」を実現できる構成としています。

### 2 見方・考え方を働かせて考えよう >> 思考力, 判断力, 表現力

#### ステップ1 自分の考えを整理しよう

① 私たちの社会を豊かにするために経済に求められる働きを、p.109～154で学習したことを振り返りながら、書き出してみよう。

【習】参考にしてみよう

- 各本文ページにある
- 各節の最後の本文ページにある

確認しよう 説明しよう

第○節の問いを振り返ろう (p.116,122, 142,152)

② ①で挙げたものの中から、あなたが特に経済に求められる働きだと思うことを選び、根拠となるページと理由をまとめてみよう。その際、見方・考え方を働かせて考えた部分に下線を引いてみよう。

【習】この章で働かせる見方・考え方の例 (→巻頭7)

対立, 合意, 効率, 公正 (→p.18～20),  
分業 (→p.109), 交換 (→p.110), 希少性 (→p.113)

【習】参考にしてみよう

- p.111～112 あなたが無人島に漂着したら?
- p.125～126 一人暮らしにかかるお金を考えよう
- p.143～144 企業の企画書を完成させよう

アクティブ 公民

#### ステップ2 意見交換を通して自分の考えを深めよう

① グループになり、「私が考える特に経済に求められる働き」を理由とともに発表し、意見交換してみよう。

② グループで行った意見交換を参考に、自分の考えに足りなかった事柄や見方・考え方を書きとめ、自分の考えを深めよう。

#### ステップ3 章の問いへの答えを理由とともに考えよう

ステップ2を踏まえて、私たちの社会を豊かにするために経済に求められる働きは何か、自分の考えを理由とともに説明してみよう。その際、見方・考え方を働かせて考えた部分に下線を引いてみよう。

私たちの社会を豊かにするためには、( )という働きが求められる。  
なぜなら、( )からである。

✓ 第4部2章への準備

p.138[外国人労働者の受け入れ]

- 現在日本では、どのような職種で外国人労働者を数多く受け入れているのか、調べてみよう。
- 日本における外国人労働者の受け入れについて、その影響を説明してみよう。

自分の考えを整理したり、グループで意見交換をしたりする際は、技能をみがく5,6,10などを参考にしてみましょう。



#### 第3部1章ワークシート

私たちの社会を豊かにするために経済に求められる働き

ステップ1 ① 私たちの社会を豊かにするために経済に求められる働き

ステップ1 ②	私が考える特に経済に求められる働き	理由
ステップ2 ②	自分の考えに足りなかった事柄や見方・考え方	

ステップ3 私たちの社会を豊かにするためには、( )という働きが求められる。  
なぜなら、( )からである。

## 「章の学習を振り返ろう」ページ構成

左ページでは学習してきた知識を確認します。右ページでは「章の問い」に対して思考・判断・表現できる構成になっています。

### 左ページ：知識の確認

第3部1章 市場経済

1 学んだことを確認しよう

- 次の問いに答えよう。
  - 多くの人が暮らす社会を豊かにするために経済に求められる働きは何か。(p.116,122)
  - 大企業は中小企業に対して、競争的な関係にあることを説明しよう。(p.116,122)
  - 消費者の立場から見て、消費者が企業から得られる利益は何か。(p.116,122)
  - 消費者が企業から得られる利益は、消費者の立場から見て、消費者が企業から得られる利益は何か。(p.116,122)
- 2 生産や消費の場面で、消費者が企業から得られる利益は何か。(p.116,122)
- 3 消費者の立場から見て、消費者が企業から得られる利益は何か。(p.116,122)
- 4 消費者が企業から得られる利益は、消費者の立場から見て、消費者が企業から得られる利益は何か。(p.116,122)

2 生産や消費の場面で、消費者が企業から得られる利益は何か。(p.116,122)

3 消費者の立場から見て、消費者が企業から得られる利益は何か。(p.116,122)

4 消費者が企業から得られる利益は、消費者の立場から見て、消費者が企業から得られる利益は何か。(p.116,122)

### 右ページ：思考・判断・表現

3 見方・考え方を働かせて考えよう

私たちの社会を豊かにするために経済に求められる働きを、p.109～154で学習したことを振り返りながら、書き出してみよう。

① ①で挙げたものの中から、あなたが特に経済に求められる働きだと思うことを選び、根拠となるページと理由をまとめてみよう。その際、見方・考え方を働かせて考えた部分に下線を引いてみよう。

② グループで行った意見交換を参考に、自分の考えに足りなかった事柄や見方・考え方を書きとめ、自分の考えを深めよう。

③ 私たちの社会を豊かにするために経済に求められる働きは何か、自分の考えを理由とともに説明してみよう。その際、見方・考え方を働かせて考えた部分に下線を引いてみよう。

### ステップ1

「章の問い」に対して自分の考えを整理する。

- ▶「説明しよう」や「節の問いを振り返ろう」などを集約する。
- ▶特に重要だと思うことを理由とともに書き出す。
- ▶見方・考え方を働かせた部分に下線を引く。

例 ステップ1 ①

私たちの社会を豊かにするために経済に求められる働き  
消費者の自立, 企業が社会的な責任を果たす。

ステップ1 ②

私が考える特に経済に求められる働き  
企業が社会的な責任を果たす。

理由  
経済において企業は生産、消費者は消費や労働を分業している。企業が社会的な責任を果たし、よりよい商品の提供や職場環境の改善を行うことで、消費者(労働者)の生活も豊かになる。

根拠となるページ  
p.141-142

### ステップ2

意見交換をして自分の考えを深める。

- ▶グループで意見交換する。
- ▶自分に足りなかった事柄や見方・考え方を書き出す。

例 ステップ2 ②

自分に足りなかった事柄や見方・考え方  
企業は効率を重視して利潤を追求しているが、公正に経済活動を行うことも重要である。

### ステップ3

「章の問い」への答えを理由とともに説明する。

例 ステップ3

私たちの社会を豊かにするためには、(企業が社会的な責任を果たす)という働きが求められる。なぜなら、(経済において企業は生産、消費者は消費や労働を分業しており、企業が公正な経済活動を行い、社会的な責任を果たすことで、よりよい商品の提供や職場環境の改善につながり、消費者(労働者)の生活も豊かになる)からである。

深い学びへ



# 3 深い学びにつながる「問い」 思考力・判断力を養う「アクティブ公民」

本文で学習したことをふまえて、社会に見られる課題を段階的に追究していくことで、**思考力・判断力を養い、深い学びにつながります。**

**学習課題**

▶ 現実の社会で起こりうる事例を提示することで、課題を追究する学習へと導きます。

課題を追究する際に働かせる**見方・考え方**を示しています。

本資料 p.27-30

**状況の確認**

▶ 生徒が自分なりの考えを構築していくにあたり、さまざまな観点の資料を提示し、**根拠をもって考えられるように**しています。

## アクティブ公民 赤字バス路線に税金を使うべきか？

～効率、公正から考える～

**学習課題** 鉄道やバスなどの公共交通機関は人々の足として日常生活に欠かせないものです。しかし、過疎化で多くの路線が存続の危機に立たされています。p.161～162で学んだ社会資本の役割を参考に、使える税金には限りがある(希少性がある)なかで、赤字バス路線を巡る対立からよりよい合意に至るにはどうすればよいか、どう税金の使いみちを選択していくべきか、市長の立場から、効率、公正の見方・考え方を以て検討してみよう。

**関連ページ** 対立、合意→p.18  
効率、公正→p.19～20  
希少性、選択→p.113  
社会資本の役割→p.161～162

### 1 赤字バス路線の廃止計画 ～状況の確認～

以下の例について、問題の状況を確認しよう。

あなたは人口約10万人を抱える〇〇市の市長です。山間部に位置するC地区は、高齢化・過疎化が進んでいます。C地区と市の中心部であるA地区を結ぶバスも、利用客が減少し、赤字が続いています。バス会社はほかの路線から得た利益で赤字を補ってきましたが、赤字額が大きいため、C地区の住民に路線の廃止を提案しました。これに対し、C地区の住民は、高齢者が多く、通院や買い物に路線バスが不可欠だと反対しており、市の税金を使ってでもバス路線を維持してほしいと熱望しています。

**C地区**

利用者数：40人  
運賃：500円  
1日あたりの売り上げ：2万円

バス：1日8便  
1便あたりの運行費用：9,000円  
1日あたりの費用：7.2万円

**A地区**

利用者数：600人  
運賃：200円  
1日あたりの売り上げ：12万円

バス：1日30便  
1便あたりの運行費用：3,000円  
1日あたりの費用：9万円

**B地区**

利用者数：600人  
運賃：200円  
1日あたりの売り上げ：12万円

バス：1日30便  
1便あたりの運行費用：3,000円  
1日あたりの費用：9万円

〇〇市の人口推移

年	人口	高齢化率
1990	38,000人	26.0%
2000	34,000人	27.5%
2010	30,000人	29.0%
2020	26,000人	30.0%

〇〇市の歳出状況

項目	金額
民生費	28.2%
公費	14.4%
公債	3.2%
国庫補助	11.7%
市町村平均	35.2%

主な解決策	変更後の運賃	市の年間負担額	市民1人あたりの年間負担額
①バスを廃止、民間タクシーのみ	5000円	0円	0円
②バスを廃止、民間の乗合タクシーを運行(予約制、税金補助あり)	500円	500万円	50円
③バスを廃止、ライドシェア(相乗り)を導入	200円	0円	0円
④本数を半分にし、運賃はそのまま	500円	750万円	75円
⑤本数を減らさず、運賃もそのまま	500円	2000万円	200円

▶ やってみよう1  
1. 各地区間を運行するバスの利益を計算してみよう。

p.163-164

民間タクシーの利用やライドシェア(相乗り)などについて、運賃や市の負担額を比較し、生徒が判断する際の参考にしています。

## 「アクティブ公民」の掲載箇所一覧(10テーマ)

部	分野	タイトル	教科書掲載ページ	部	分野	タイトル	教科書掲載ページ
第1部	現代社会	マンションの騒音問題を解決しよう	p.23-24	第3部	経済	あなたが無人島に漂着したら?	p.111-112 <b>New</b>
第2部	政治	みんなで決めるとはどういうこと?	p.33-34 <b>New</b>			一人暮らしにかかるお金を考えよう	p.125-126 <b>New</b>
		青果店を営む男性はどうなる?	p.57-58			企業の企画書を完成させよう	p.143-144
		裁判の判決を考えよう	p.91-92			赤字バス路線に税金を使うべきか?	p.163-164
		自分が住むまちのまちづくりを考えよう	p.101-102	日本は難民をどう支援していくべきか?	p.187-188 <b>New</b>		
第4部	国際						

## 技能をみがく 10 ディスカッションをやってみよう

ディスカッション(議論)とは、あるテーマに対してさまざまな立場から、自由に意見を出し合う方法です。ディスカッションによって、一つの物事に対し多くの考え方があふれることを知ることができます。ここでは、赤字バス路線に税金を使うべきかについて、市長の立場でディスカッションをしてみよう。

**ディスカッション(議論)の注意点**

- 必ず根拠に基づいた主張をする。また、正確な情報を根拠として提示しない。
- 相手の発言を途中でさえぎったり、相手の主張をむやみに否定したりしない。
- 自分の主張を批判されたからといって、相手をけなすような言い方はしない。

**事実・データ** 少子化が進んでいる。

**理由づけ** 少子化が進むのは子育て支援が不十分だからだ。

**主張** 少子化対策のために子育て支援をすべきだ。

**トールミンモデル** 事実・データと、主張の根拠となる「理由づけ」を意識すると、より論理的な主張ができるようになります。

課題を追究する上で参考になる技能を紹介しています。

本資料 p.31-32

## 2 赤字バス路線を巡る住民どうしの対立 ～主張の整理～

赤字バス路線を存続すべきかどうかについては、A・B地区の住民とC地区の住民の間で意見の対立が見られます。A・B地区の住民も、税金を納めているため、この問題と無関係ではありません。

**A地区に住むバス会社の人の声**

会社の経営が成り立たなくなれば、ほかの路線も廃止になってしまふ。赤字バス路線の廃止はやむを得ない。

**B地区に住む市役所職員の声**

民間の予約制乗合タクシーやライドシェアなどの方法で、なるべく税金を使わないようにしたい。

**C地区に住む学生の声**

車を運転できないので、バス路線が廃止されたり減ったりしたら、通学や買い物をするのに困ります。

**A地区に住む若者の声**

車でどこにでも行くことができるし、ふだんC地区には行かないので、バス路線が廃止され

**B地区に住む家族の声**

赤字バス路線を残すために貴重な税金を使うよりは、そのお金を子育て支援のために使って

**C地区に住む高齢者の声**

通院のためにバスを使います。年金収入で暮らしているため、運賃が値上がりしたら、生活

**主張の整理**

▶ 解決策を考えるためには異なる主張をふまえないと、**多面的・多角的な考察を促します。**

## 3 対立から合意へ ～効率、公正の見方・考え方を以て～

企業が存続していくためには、採算の取れない事業から撤退し、その分採算の取れる事業に資源を配分することが必要です。その意味で、赤字バス路線を廃止するという判断は、「効率」の見方・考え方にかなっています。しかし、公共交通手段の確保のために税金を使うことは、人々がどこに住んでいても、生活上必要な公共サービスを受けることができるという意味で、「公正」の見方・考え方にかなっています。この赤字バス路線に税金を使うべきかどうか、考えてみよう。

**やってみよう2**

- 「赤字バス路線」は税金を使うべきものにあたるかどうか検証しよう。その際、「公共性」と「経営の効率化」など、両方を満たすことが難しい場合、何を重視するか考えよう。
- 市長の立場から、資料3の解決策①～⑤の中から適切だと思うものを選び、その理由を考えてみよう。また、それ以外に解決する方法はあるだろうか。

**対立から合意へ**

▶ すべてを満たす解決策がないなかで、自分なりの解決策を理由とともに考えることで、**思考力・判断力を養い、深い学びにつながります。**

採算を重視する「効率」の見方・考え方や、公共サービスを維持するという「公正」の見方・考え方を示し、考察を深めることができるようにしています。



# 3 深い学びにつながる「問い」 思考力・判断力を養う「アクティブ公民」

**マンションの騒音問題を解決しよう ～対立と合意を、効率と公正から考える～**  
▶マンションの騒音問題について、さまざまな住民の事情をふまえながら、解決策を追究していきます。

### アクティブ公民 マンションの騒音問題を解決しよう

～対立と合意を、効率と公正から考える～

私たちの暮らしにおいても、「対立」が起こり、「合意」が必要となる場面はたくさんあります。ここでは、あるマンションを例に、実際に起こりうる「対立」について、みんなが納得できる「合意」を作ることに挑戦してみよう。

**1 ロールプレイングで住民の事情と主張を確認しよう**

下のマンションでは、住民の間にさまざまな問題が起こっています。そこで、最近特に苦情が多い「夜の騒音問題」について、話し合うことになりました。住民の立場に立って解決策を話し合ってみよう。

301号室 青木さん 共働きで朝晩や夜遅いなどの家事は夜9時以降、隣の部屋から聞こえる音に気がいらぬ。 302号室 上田さん 大学生の息子はよく友達を招いて遊ぶ。夜遅くまで騒音で、朝の目覚めが悪い。 201号室 根本さん 小学生の子供も2人いる。朝早く起きる。朝の騒音で目が覚め、朝の目覚めが悪い。 202号室 藤田さん ピアニスト。練習は毎日。朝早く起きる。朝の騒音で目が覚め、朝の目覚めが悪い。 203号室 藤田さん 小学生の子供も3人いる。朝早く起きる。朝の騒音で目が覚め、朝の目覚めが悪い。

**2 ロールプレイングで解決策を話し合ってみよう**

ロールプレイングの役割のまま、問題を解決するために効果的だと思う解決策を話し合ってみよう。

	A案	B案
長所		
短所		
話し合い前	A案	B案
話し合い後	A案	B案

**3 話し合いを評価してみよう**

2で行った話し合いについて、住民の誰もが納得する話し合いだったか評価してみよう。

**4 効率、公正の見方・考え方をういて解決策を検討してみよう**

2で出した解決策について、効率、公正の見方・考え方を検討してみよう。

▶p.23-24

①でさまざまな住民の事情をふまえ、②で多面的・多角的に解決策を考えることで、思考力・判断力を養います。

②で考えた解決策を話し合いを通じて修正していくことで、解決策がより現実的になり、深い学びにつながります。

### さまざまな住民の事情

①共働きのため夜に洗濯をする。

②小学生の子供がはしゃぎ回る。

③小型犬を飼っていて鳴き声をする。

④大学生の息子に友達がよく遊びに来てさわぐ。

⑤ピアニストが夜に練習をする。

⑥生まれて3か月の赤ちゃんが夜泣きする。

▶p.23

**あなたが無人島に漂着したら？ ～分業と交換について考える～**  
▶「無人島に漂着したらどうするか」を考えることを通じて、経済のしくみへの理解が深まります。

### アクティブ公民 あなたが無人島に漂着したら？

～分業と交換について考える～

p.109～110では、経済(経済活動)は、分業と交換によって成り立っていることについて学習しました。分業と交換は経済の基本的なしくみですが、何も最近の話でなく、ずっと昔から行われていたのです。そのことを無人島の事例を通して考えてみましょう。

**1 無人島に漂着したらどうするか**

①あなたは旅行中に不幸なことに航空機事故に遭い、着ている服以外は何も身につけていない状態で、無人島に漂着してしまいました。奇蹟的にもけがはしていませんが、付近に乗客は見当たりません。

**2 無人島に漂着した経験を現代社会に置き換えてみよう**

1. 無人島の生活には、衣、食、住が必要でした。現代生活に必要なモノは何ですか。 2. 無人島では、自給自足や共同生活、分業で必要なモノを集めていました。現代では、必要なモノは誰が生産していますか。 3. 無人島では、欲しいモノがあれば、物々交換・交換で手に入っていました。現代では、欲しいモノをどのような方法で手に入れていますか。 4. なぜ、このようなシステムが手に入ってきたのだろうか。無人島の疑似体験をしながら考えたことを振り返りながら、考えてみよう。

▶p.111-112

無人島での生活に必要なもの考えることで、私たちのまわりでは多様な商品が生産・消費される経済活動が行われていることに気が付き、思考力・判断力を養います。

無人島の疑似体験を現実の社会に置きかえることで、分業や交換によって成り立つ経済のしくみを実感し、深い学びにつながります。

### +α アルファ [Yes No] (8テーマ)

▶現代社会で議論されているテーマについて、賛否の意見を紹介し、多面的・多角的な考察を促します。

**Yes No ぼうはん 防犯カメラの設置について**

- 犯人が捕まりやすくなる。
- 犯罪を防止する効果が期待できる。
- 犯罪とは別の場所で映っている場合、無実を証明できる。
- 自分の行動を、許可なく知らない人に監視されたくない。
- 画像が犯罪捜査以外に使われる可能性がある。
- 映された側は内容をチェックできない。

▶p.55

テーマ	教科書掲載ページ
死刑制度について	p.44
夫婦が別姓を選ぶことについて	p.46
防犯カメラの設置について	p.55
有名人の個人情報を無断で公開することについて	p.55
民泊について	p.84
取り調べの可視化について	p.90
救急サービスの有料化について	p.158
所得税の累進課税の強化について	p.160



# 「現代社会の見方・考え方」を丁寧に解説

## 具体事例などを交えた理解しやすい本文

特色  
4

### 「対立と合意」「効率と公正」

▶「対立と合意」「効率と公正」の見方・考え方について、「防災備蓄倉庫の新設」を例に展開することで、わかりやすく理解できます。

### 「対立と合意」

防災備蓄倉庫の新設をめぐる四つの地区の事情をふまえることで、利害の対立を解消して合意を作り出し、社会を動かすことが大切であることを切実感をもって理解できます。

1 現代社会 第2章 現代社会をどう見るか

防災備蓄倉庫の新設をめぐって、A地区、B地区、C地区、D地区の4つの地区で話し合いが行われています。

1 社会的存在として生きる私たち

社会的存在とは、個人が社会の中で果たしている役割のことです。私たちは、互いに支え合っている社会の中で生きています。

p.17-18

### 「効率と公正」

防災備蓄倉庫の建設費用と利用者数のバランス、意思決定における住民参加の重要性などを示すことで、効率と公正について具体的にイメージできます。

2 効率と公正

防災備蓄倉庫の新設をめぐって、A地区、B地区、C地区、D地区の4つの地区で話し合いが行われています。

効率とは、問題の解決策によって得られる効果が、それに必要な時間や労力、費用に見合ったものであるかどうかを指します。

公正とは、よりよい合意にするためには、公正な考え方も重要です。公正とは、合意する際に、互いの意見を尊重し、合意によって作られる結論が一人一人に最大限配慮したものであるかどうかを指します。

p.19-20

**対立から合意へ**

社会的存在としての私たちは、直接あるいは間接的に、ほかの人々と関わり合いながら、共に暮らしています。あなたが住む地域でも、職業、生活スタイルや年齢、家族構成も異なる多様な人々が生活しています。人はそれぞれの考え方や利害を持っているので、意見の違いから人々の間に問題や争いといった「対立」が起きてしまいます。

しかし、問題を残して対立したままでは、共に生活していくことが難しくなり、私たちの社会はうまくいかなくなってしまいます。左ページの地域の人々も、意見の違いから起こる対立を解消し、互いがよりよい生活を送れるようにするためには、互いの言いたい点をよく理解しあうことで「折り合い」をつけなければなりません。私たちは、話し合いや交渉などを通じて決定を行い、「合意」を作り出すことで問題を解決し、社会を動かしていくことが必要です。

p.18

**効率とは**

合意とは、人間社会で起こる対立を解消し、人々が共に生きることができるよりよい社会をつくるための取り決めです。よりよい合意を作るために**効率**や**公正**といった見方・考え方を踏まえる必要があります。

効率とは、問題の解決策によって得られる**効果**が、それに必要な**時間**や**労力**、**費用**に見合ったものであるかどうかを指します。できる限り少ない**資源**や**費用**などを使って社会全体でより多くの利益を得られる結果になっているかどうかを大切に考える考え方は、防災備蓄倉庫の例では、どの場所に設置しても費用が同じ場合、最も多くの人々を救うことができる場所はどこかを考えるということです。

p.19

**公正とは**

よりよい合意にするためには、公正な考え方も重要です。公正とは、合意する際に、互いの意見を尊重し、合意によって作られる結論が一人一人に最大限配慮したものであるかどうかを大切に考える考え方は、防災備蓄倉庫の例では、全地区の代表が参加できる会議だったか、設置場所が特定のみに利用しにくい場所になっていないか、倉庫ができることで生活環境が著しく悪くなる人がいないかといったことを考えなければなりません。また、倉庫は長く使うので、現在だけでなく、未来の地域の様子も想定したうえで考えることも必要です。

p.20

### 「民主主義」

▶「民主主義」の見方・考え方について、生徒に語りかけるような本文で丁寧に解説することで、その意義を実感をともなって理解できます。

第2部 政治 第1章 日本国憲法

第1節 民主主義と日本国憲法

1 民主主義と立憲主義

ボランティヤ

ボランティヤとは、個人が自らの意思で、社会のために貢献することです。ボランティヤは、社会の発展に大きく貢献しています。

国家権力とは、社会に必要なものです。しかし同時に、個人の意思を無視して、お金の支払いや労力の提供を強制できる、恐ろしい力でもあります。それをよりよく使うには、国家権力を適切に行使するために、すべての国民が決定に参加すべきだという考え方が生まれました。これが民主主義です。

p.29-30

### 「民主主義」

**民主主義**

国家権力は社会に必要なものです。しかし同時に、個人の意思を無視して、お金の支払いや労力の提供を強制できる、恐ろしい力でもあります。それをよりよく使うには、**何を判断するとき、一人一人の能力は限られています。しかし、多くの人が決定に参加すれば、それぞれが持つ多様な情報や知識を決定に生かすことができます。また、決定に参加した人は、自分の思いどおりにならなかったとしても、それを受け入れようという気持ちになりやすくなるでしょう。そこで、国家権力を適切に行使するために、すべての国民が決定に参加すべきだという考え方が生まれました。これが民主主義です。また、それに基づく政治を、民主政治といいます。**

p.29-30

3 民主主義の実践

中学生が実践した民主主義

あるまちでは、駅が無駄になり、ごみのポイ捨てが急増していました。そこで、生徒会の役員会は、放課後に駅の清掃活動を提案し、クラスで議論されました。賛成意見が多かった一方、部活動で参加できない、分別ごみ箱を設置すべきだという意見も一部ありました。

役員会はクラス討議での少数意見にも配慮し、修正案をまとめました。修正案は生徒総会で話し合われた後、多数決による賛成多数で可決されました。

賛成意見は、最初の実践活動が実施されました。これをきっかけに、ごみに悩んでいた地域の人も清掃活動に加わるようになりました。また、分別ごみ箱を設置することで、分別の意識も高まりました。ごみのポイ捨ては少なくなりました。このように、私たちの身近な社会でも民主主義が実践されています。

多数決

より多くの意見を反映できる方法として、多数決があります。しかし、必ずしも過半数の賛成を得なければなりません。少数意見の意見も取りながら、単に数の多い方が決めるだけでなく、異なる立場の人たちが十分に話し合い、合意点を見いだせるような取り組みも必要です。

立憲主義

ただし、民主主義にも欠点があります。多数決によって少数の人の権利を侵害したり、独裁者を生み出して国家権力の私権化を許してしまったりすることもあります。国の政治でも、多数決で特定の地域の人に重い税金を課したり、軍隊や警察が、反対意見を持つ人を武力で黙らせ、やりたい放題になったりする危険があるのと同じです。

多くの国では、国家権力は、戦争・人権侵害・独裁を繰り返す、人々を苦しめました。そうした過ちを繰り返さないように、戦争や軍隊をコントロールしたり、戦争・人権侵害・独裁などを禁止したりするルール(憲法)を作り、国家権力の濫用を防ぐ考え方が生まれました。これが立憲主義です。民主主義と立憲主義は、国家権力を正しく使うために、とても重要な考え方なのです。

特色  
4



# 「現代社会の見方・考え方」を丁寧に解説

## 具体事例などを交えた理解しやすい本文

### 「分業と交換」

▶「分業と交換」の見方・考え方について、パンが消費者に届くまでの工程を具体的に解説することで、わかりやすく理解できます。

#### 第3部 経済 第1章 市場経済

##### 第1節 私たちの生活と経済

私たちの生活と経済

私たちにパンが届く工程の例

製造：パン屋さん、販売：消費者

加工：製粉会社、小麦、小麦粉

スーパー・コンビニなど

消費者

パン工場

製粉会社

小麦

小麦粉

パン屋さん

消費者

パンが消費者に届くまでにどのような人が関わっているのだろうか。

#### 1 経済活動とお金の役割

私たちの生活の中で、経済活動はどのような役割を果たしているのだろうか。

**経済活動とは** あなたはおなかをすいて、パン屋さんからパンを買ったとしましょう。このことを消費といいますが、パン屋さんは原料を買って、パンを作って売ります。このことを生産といいますが、モノだけではなく、髪をカットしてもらうなどのサービスも生産され、消費されます。このように、私たちの周りではお金を使ってさまざまな商品(モノやサービス)が生産され、消費されています。この生産と消費を中心とする人間の活動を「経済活動」といいます。

**経済を支える分業** あなたがパン屋さんで買ったパンが作られる工程、つまり、多くの人が異なる役割を分担しながら商品を作り上げていくことを「分業」といいます。例えば、無人島で生活するように、一人ですべてをこなすのは、簡単ではありません。同様に、パン屋さんがパンの製造や販売だけでなく、小麦やさとうきびの生産までもこなすのは難しいでしょう。分業によって、それぞれの人が得意な仕事に専念し、一生懸命働くことで、大量に品質のよい商品を生産できるようになるのです。それに、農家も、製粉会社も、パン屋さんも、自分が作った大量のモノをすべて自分で消費することはできません。必要な分以外はほかのモノやサービスと交換することで、豊かな生活を成り立たせることができるようになります。その時に重要な役割を果たすのがお金(貨幣)です。つまり、製粉会社は農家から小麦を買ってお金を支払い、パン屋さんは小麦粉を買ってパンを作りお金を得ています

**お金の(貨幣)の役割と経済の循環** もしも貨幣がなく、物々交換をしなくてはならないとしたら、あなたはパンが欲しいときにどうしますか。交換のために差し出したモノをパン屋さんが受け取ることは限りません。貨幣のおかげで、経済活動を取り引きをスムーズに行うことができます(①交換)。また、パン1個が100円というように、商品の価値の大きさを測ることができます(②価値尺度)。そして、貨幣は財産を蓄える手段にもできます(③貯蓄)。このように、貨幣には三つの役割があります。

**経済の循環** 赤はお金、緑はモノやサービス、青は労働の流れを示しています(→p.157)。

**貨幣の役割を、本文から三つ書き出してみよう。**

**経済活動とはどのような活動か。**

**【生産】【消費】という言葉を用いて説明してみよう。**

p.107-108「学習の前に」を振り返る▶モノ(パン(E-3)など)、サービス(靴(D-1)など)

### 「分業と交換」

あなたがパン屋さんで買ったパンが作られる工程、つまり、多くの人が異なる役割を分担しながら商品を作り上げていくことを「分業」といいます。

例えば、無人島で生活するように、一人ですべてをこなすのは、簡単ではありません。同様に、パン屋さんがパンの製造や販売だけでなく、小麦やさとうきびの生産までもこなすのは難しいでしょう。分業によって、それぞれの人が得意な仕事に専念し、一生懸命働くことで、大量に品質のよい商品を生産できるようになるのです。

それに、農家も、製粉会社も、パン屋さんも、自分が作った大量のモノをすべて自分で消費することはできません。必要な分以外はほかのモノやサービスと交換することで、豊かな生活を成り立たせることができるようになります。その時に重要な役割を果たすのがお金(貨幣)です。つまり、製粉会社は農家から小麦を買ってお金を支払い、パン屋さんは小麦粉を買ってパンを作りお金を得ています。

製粉業者、流通業者、パン屋さんなどが分業し、原料や製品をお金と交換しながら財やサービスを生み出していることを、具体的にイメージできます。

### 「持続可能性」

▶「持続可能性」の見方・考え方について、国連の持続可能な開発目標(SDGs)について丁寧に解説することで、わかりやすく理解できます。

国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標

あなたがSDGsの中で一番取り組みたい目標を、理由とともに挙げてみよう。

#### 4 国際社会のよりよい発展

**持続可能な開発目標(SDGs)とは** これまで学習してきたように、世界には貧困や紛争、地球環境問題など、さまざまな課題があります。こうした諸課題に取り組み、将来の世代を含むすべての人々が質の高い生活を維持できるようにすることで、社会の持続可能性を高めていくこと、つまり「持続可能な社会」の実現が求められています。

そのために、2015年に国連で、持続可能な開発目標(SDGs)が採択されました。このSDGsでは、「誰一人取り残さない」ことが理念に掲げられ、30年までに達成すべき17の目標が設定されました。中には、所得格差の解消、廃棄物の削減、地球温暖化への対策など、先進国自身が取り組むべき目標も含まれており、すべての国が取り組む世界共通の目標となっています。

**人間の安全保障** 国連開発計画(UNDP)が1994年の報告書で打ち出した概念です。それまで軍事力により国家の安全保障を維持してきた方針を、一人一人の生活を守るという発想に転換し、貧困、飢餓、病気、人権侵害、紛争、環境破壊などの脅威から人々を守るという概念です。

**SDGsは** 国連などの目標が多岐にわたることから、国際機関や各国の政府、非政府組織(NGO)、民間企業などさまざまな立場から協調して取り組むことが重要です。NGOは、人々の暮らしを支えるために活動しており、政府の行う援助よりもさらに深く人々と関わり、現地の生活に根ざした協力を進めているところも多くあります。そのため、政府も政府開発援助(ODA)などの取り組みにおいて、NGOとの連携を強化しています。

また、民間企業の中にも、SDGsを経営方針の一つに掲げ、目標の実現に向けて取り組むところも出てきています。

**SDGsと私たち** この教科書の第2部では、男女の平等や教育を受ける権利などについて学習してきました。第3部では、労働者の権利や技術革新(イノベーション)の推進などについて学習してきました。これらもSDGsに含まれています。SDGsの達成には、私たち自身の取り組みも重要です。よりよい国際社会を実現するためには、まず世界の諸課題の現状や背景を知り、関心を持ち続けることが大切です。中学生の今できることは限られていても、将来取り組めることもあるでしょう。SDGsを達成して「持続可能な社会」を実現していくために、今できることを、将来にわたって取り組んでいこうと、自分なりに考えてみましょう。

第二部の問いを振り返ろう▶地球規模の社会的課題を解決していくために、どのような国際協調が求められているか、「持続可能性」という言葉を用いて説明してみよう。

p.195-196

### 「持続可能性」

これまで学習してきたように、世界には貧困や紛争、地球環境問題など、さまざまな課題があります。こうした諸課題に取り組み、将来の世代を含むすべての人々が質の高い生活を維持できるようにすることで、社会の持続可能性を高めていくこと、つまり「持続可能な社会」の実現が求められています。

そのために、2015年に国連で、持続可能な開発目標(SDGs)が採択されました。このSDGsでは、「誰一人取り残さない」ことが理念に掲げられ、30年までに達成すべき17の目標が設定されました。中には、所得格差の解消、廃棄物の削減、地球温暖化への対策など、先進国自身が取り組むべき目標も含まれており、すべての国が取り組む世界共通の目標となっています。

持続可能な開発目標(SDGs)について、「誰一人取り残さない」という理念や、所得格差の解消など目標を具体的に解説することで、その重要さをしっかり理解できます。



# 「知識・技能」がしっかり身に付く工夫 世の中のしくみがよくわかる図解・本文、充実した技能コーナー

特色  
5

## 「知識」を身に付けるための工夫

**わかりやすい模式図**  
▶ 価格の変化の影響を直感的に理解できます。

資料活用…価格の変化を受けて、右の吹き出しにはどのような言葉が入るか、理由とともに考えてみよう。

**資料活用**  
▶ 資料を読み取るポイントを示し、資料活用能力が高まるようになっています。

### 3 価格の動きと経済

学習課題 市場経済とは、どのようなしくみで成り立っているのだろうか。

価格の動きと市場 私たちのお金の使い方は、価格によって大きな影響を受けます。例えば、商品の価格が高くなると、私たち消費者はより多くお金を支払わなければならないので、**買入量(需要量)**を減らそうとします。これに対し、その商品を生産する企業は、**価格が高くなればその分利益が増えるので、作入量(供給量)**を増やそうとします。このように価格は、消費者が需要量を決め、生産者が供給量を定めるための目安となります。

さまざまな商品が自由に売買される場を**市場**といいます。そして、市場で決められる商品の価格を**市場価格**といい、その変化を通して消費量(需要量)と生産量(供給量)が決められていく経済を**市場経済**といいます。このしくみによって、数えきれないほどの商品が、効率的に配分されています。

商品の需要量が供給量より多いときは、価格が高くなり、供給量は増えていきます。逆に供給量が需要量より多いときは、価格

資料活用…みかんの入荷量と価格(東京中央卸売市場 年報 平成29年) 入荷量と価格がどのような関係になっているか考えてみよう。

**かみ砕いた本文**  
▶ 因果関係や背景がわかるように、丁寧な本文になっています。

### 公民プラス 「アリとキリギリス」から「選択」を考える

夏には 冬になると

インソップ物語の「アリとキリギリス」最後にアリがキリギリスを助けて終わる結末もあります。

資料活用…アリの選択とキリギリスの選択について、それぞれの長所と短所を挙げてみよう。

私たちが**選択**をする際には、それぞれの**選択肢の長所と短所**を比較することが大切です。例えば、インソップ物語では、夏の間ずっと遊ぶことなく冬に備えて食料をためていたアリと、夏の間ずっと遊んでいたために冬にひもじい思いをするキリギリスが登場します。アリは限られた時間を「今を楽しむ」ことではなく、「冬に備える」ことに使う**選択**をしたことになりました。一方で、キリギリスは限られた時間を「今を楽しむ」ことに使って、「冬に備える」ことに使わない**選択**をしたことになりました。どのような**選択**をするかは人それぞれですが、現在何が**必要**なのかだけでなく、**将来**何が**必要**のかも考え抜いて、**選択**をするようにしましょう。

**事例紹介**  
▶ 本文の学習内容に関連する具体的な事例を紹介することで、抽象的な概念を着実に理解できます。

## 「技能をみがく」の掲載箇所一覧

テーマ	教科書掲載ページ
ロールプレイング(役扮演技)をやってみよう	p.24
ディベートで議論を深めよう	p.58
新聞について知ろう	p.71-72
裁判傍聴をしてみよう	p.92
KJ法で分析してみよう	p.102

テーマ	教科書掲載ページ
意見を整理してみよう	p.103
「契約」について考えてみよう	p.123-124
ライフプランからお金について考えてみよう	p.133-134
自分が起こしたい企業の企画書を書いてみよう	p.144
ディスカッションをやってみよう	p.164

## 分析や意見整理のための「技能」を紹介

**「KJ法」による分析**  
▶ さまざまな意見を分類し、関連や対立関係をわかりやすく整理する技能が身に付きます。

### 技能をみがく 5 KJ法で分析してみよう

多くの意見や情報を同じ内容でグループ化し、グループ同士の関係性を記入していくことで、意見の関係を分析する方法です。

分析の手順

1. 一つの意見を一枚のカードに記入する。
2. 同じ内容の意見をまとめてグループ分けし、タイトルを付ける。
3. グループごとの関連や対立関係を分析する。

**新聞の見方**  
▶ 紙面の構造などを知ることで、メディアリテラシーの育成につながります。

### 2 新聞の構造について知ろう

新聞の1面は、重大な出来事が掲載されている、いわば「新聞の顔」です。そこには、朝刊では前日、夕刊ではその日に起きた大きな出来事が掲載されています。読者にいち早く情報を伝えるため、まず見出しで重要なことを伝え、その後リードや本文で内容を補足していく構成になっています。

1 見出し 記事の最初にあり、内容が一目で分かるようになっています。

2 リード 本文の内容を短文でまとめています。小さい記事にはないこともあります。

3 本文 事件や事実の詳細が書かれています。

4 用語解説 記事に出てきた専門用語や、難しい言葉が解説されています。

5 もくじ 一面では扱っていない重要記事、特集などの掲載箇所が一覧になっています。

6 コラム その時代、そのときを反映した記事が掲載している新聞が数多くあります。

1面ですべてのニュースを概観した後は、もくじを確認することで、主な内容が新聞のどの面で取り上げられているのかを確認できます。一つのニュースでも、政治面、経済面、社会面などで取り上げる視点が異なる場合があります。一つの事象を多角的に見ることができます。

**契約についての知識**  
▶ 身近な生活の一場面から、契約のしくみについて理解できます。

### 2 「契約」はいつから成立する?

Aさんがスマートフォンを買っています。

やってみよう2

スマートフォンを買う場合、どの時点で契約が成立するのだろうか。A～Eの選択肢から選んでみよう。

A Aさんが「これください」と言い、店員が「はい」と合意したとき  
イ 契約書を書いたとき  
ウ お金を支払ったとき  
エ スマートフォンを受け取ったとき



## 第1部の流れ

学習の前に	第1章 現代社会と文化		章の学習を振り返ろう	第2章 現代社会をとらえる枠組み		章の学習を振り返ろう
	現代社会の特色 ①	私たちの生活と文化 ②		③ ④		

第1部「現代社会」では、公民的分野の学習をはじめに、さまざまな変化に直面している現代社会の特色や、そのなかでも伝統や文化を受け継ぎ、発展させることの大切さを解説しています。そして、最も基礎的な社会集団である「家族」と「地域社会」を取り上げることで、自分が社会の一員であることを実感し、社会参画への意識を高められるようになっています。

### 1 公民的分野の学習のはじめに、社会が直面している変化を解説

▶情報化、グローバル化、少子高齢化について、政治や経済などの学習の前提として解説しています。そのうち情報化に関しては、特に影響が大きいと予想される人工知能(AI)について、防災での活用など具体例を交えて紹介しています。

**公民プラス AIを減災に活用**

AIは防災や、災害の被害を減らす減災の在り方にも変化をもたらしています。2016年の熊本地震や2017年の九州北部豪雨では、SNS上にある災害情報をAIが分析するシステムを活用し、災害対応に役立てる試みがなされました。AIの活用によって、減災につなげたり、迅速な救助、救援を行ったりできるようになることが期待されています。

九州北部豪雨で被害を受けたJR久大本線の鉄橋(2017年) 大分県は、SNS上にある情報を分析するAIシステムによって、鉄橋が流失したことを把握し、鉄道会社に伝達しました。

AIが分析した結果を一覧形式で表示した画面のサンプル SNSへ投稿された被災等の情報をAIが分析し、その結果が一覧形式または地図形式で表示されます。今まさに起きている災害の情報を手に入れることができます。

役割	割合
家族の団らんの場	64.9%
休息・安らぎの場	64.4%
家族の絆を強める場	54.3%
親子が共に成長する場	39.3%
夫婦の愛情を育む場	29.2%
子どもを育てる場	28.4%
子どもをしつける場	16.4%
親の世話をする場	14.7%

■p.14

### 3 家族や地域社会の役割を丁寧に解説

▶私たちは家族や友達、地域の人々などに関わりながら暮らしており、一人では生きていけない社会的存在です。そこで、社会の一員としての意識を高めてから公民的分野の学習を進められるよう、家族や地域社会の役割を丁寧に解説しています。

**私たちと家族・地域社会**

私たちにとって家族とは、最も基礎的な社会集団です。私たちは家族との「団らん」のなかで「休息や安らぎ」を得て、明日への活動の精神的な力を養っています。また、言葉や社会習慣、社会のルールを学び、愛情や道徳など人間の在り方を身につけます。家事、育児、家族の看病や介護といったものも、互いの存在を大切なものとして支え合うという大切な家族の役割です。こうして、家族という集団は、個人が社会の一員として成長していくために大きな役割を果たしています。

また、私たちは、住民どうしが協力し合いながら生活する地域社会の中でも暮らしています。地域社会を支える自治会や消防団、子ども会などの組織は地域住民によって運営され、防災など私たちの社会生活をよりよいものにするための重要な活動を行っています。

■p.18

### 2 先人の積み重ねた努力を振り返り、その意義を解説

▶よりよい社会のあり方を考える上で、先人が築いてきた伝統や文化を受け継ぎ、発展させていくことの意義を解説しています。その際、中学生の取り組みも紹介し、共感をもてるようにしています。

**伝統芸能を受け継ぐ(長野県大鹿村)**

大鹿村には、江戸時代から各集落の神社の舞台上で演じられ、現在まで受け継がれている地域の伝統芸能「大鹿歌舞伎」があります。少子高齢化・過疎化が進むなかで、後継者を育てたいという地域の願いと、それを受け継ぎたいという生徒の願いが一致し、村の小中学校では、毎年ふさと学習の一環として、歌舞伎の発表会や公演が行われています。その結果、卒業生たちが大鹿歌舞伎の舞台上に立つようになり、若い担い手たちが育ってきています。

小中学生の体験学習は、地域への誇りと愛着をもたらす、大鹿歌舞伎を継承していく基盤となっています。

歌舞伎を演じる中学生の様子

資料活用…自分の身近な地域にも、中学生が伝統文化を継承している事例があるだろうか。

■p.11

### 4 よりよい社会をつくるための合意形成のあり方を解説

▶さまざまな立場の人がともに生きる社会において合意を形成し、社会をよりよいものにしていくためには、歩み寄って理解し合うことが大切であることを示し、お互いを尊重する姿勢を養えるようにしています。

**合意するためには**

決定を行うためには、全員の意見が一致するまで話し合う、多数決で決める、当事者の代表者や第三者が決めるなど、さまざまな方法があります。しかし、どのような方法でも問題を解決して対立を解消し、社会をよりよいものにしていくためには、関係する人々が納得し、合意するように話し合うことが基本です。そのためには、互いに意見を述べ合い、歩み寄って理解し合うことが大切です。例えば、家事の分担を決めるときは、家族がみんなで話し合い、納得のいく合意を作ることで、みんなが気持ちよく取り組むことができるでしょう。

■p.21

<p><b>全員の意見が一致するまで話し合う</b></p> <p>【長所】全員が納得する 【短所】決定までに時間がかかることがある</p>	<p><b>多数決で決める</b></p> <p>【長所】意見が反映される人の数が多い 【短所】少数意見が反映されにくい</p>
<p><b>当事者の代表者が決める</b></p> <p>【長所】短時間で決まる 【短所】代表者の意見しか反映されないこともある</p>	<p><b>第三者が決める(先生、くじ、じゃんけんなど)</b></p> <p>【長所】利害に関係ないため早く決まる 【短所】当事者が納得しないことがある</p>

決定を行う方法の例 資料活用…ごみ置き場の掃除規則の事例では、どの方法がよいか考えてみよう。

■p.22 決定を行う方法の例



第2部「政治」では、日本国憲法や基本的人権、国政や地方自治など生徒たちが縁遠く感じがちな政治の現状やしくみなどを、**かみ砕いた本文**でわかりやすく解説しています。これにより、生徒たちが自分と憲法や人権、国政や地方自治などとの接点を見つけ、**社会参画**への意識を高められるようにしています。

### 第2部の流れ

学習の前に	第1章 日本国憲法			章の振り	学習を返ろう	学習の前に	第2章 民主政治			章の学習を振り返ろう
	民主主義と日本国憲法 ①	基本的人権の尊重 ②	法の支配を支えるしくみ				民主政治と私たち ③	国の政治のしくみ	地方自治と私たち ④	

## 1 民主主義の理念を最初に学べる配列

▶ **民主主義**の理念を政治単元の最初に学習できる配列にすることで、民主主義の理念が基盤になっている日本国憲法や基本的人権、国政単元などの理解を助け、学習をスムーズに進められるようにしています。

その際、生徒たちが実際に地域の問題に取り組む姿を紹介し、**社会参画**の大切さに気が付けるようにしています。


**未来に向けて**  
**人権** 中学生が実践した民主主義

あるまちでは、駅が無人駅になり、ごみのポイ捨てが急増していました。そこで、生徒会の役員会は、放課後に駅の清掃活動を提案し、クラスで討議されました。賛成意見が多かった一方、部活動で参加できない、分別ごみ箱を設置すべきだという意見も一部にありました。

役員会はクラス討議での少数意見にも配慮し、修正案をまとめました。修正案は生徒総会で話し合われた後、多数決による賛成多数で可決されました。

夏休みには、最初の清掃活動が実施されました。これをきっかけに、ごみに悩んでいた地域の人たちも清掃活動に加わるようになりました。また、分別ごみ箱を設置することで、分別への意識も高まり、ごみのポイ捨ては少なくなりました。

このように、**私たちの身近な社会でも民主主義が採られています。**



↑駅の清掃活動の様子

**声** 参加した中学生の声

自分の校区の駅なので、自分たちできれいにしたいと思い、清掃活動に参加しています。この活動を通して地域の人たちと話すことも増え、自分のまちがもっと好きになりました。

■p.30

## 2 基本的人権の概念を実感をともなって理解できるよう、かみ砕いて解説

▶ 政治単元における抽象的な概念を、**かみ砕いて解説**するよう留意しています。例えば「公共の福祉」については、公共とは「誰に対しても開かれている」という意味であることをかみ砕いて解説しています。

そして、すべての人の権利が尊重されるために、公共の福祉が人権相互の対立を調整する原理であることをわかりやすく解説しています。

**公共の福祉と人権**

国家は、特定の人の利益や好き嫌いを満足させるためではなく、**公共の福祉**の実現のためにあります。**公共とは、誰に対しても開かれているという意味で、公共の福祉とは、犯罪の防止や良好な環境の維持など、あらゆる人の快適さや幸福につながることをいいます。**国家が人権を制限する場合は、それが公共の福祉の実現になることを証明しなければなりません。

また、すべての人の権利がひとしく尊重されることも公共の福祉の内容です。他人の権利を侵害するかたちでの権利行使を認めると、それが害されます。そこで、憲法12条は、憲法上の権利を濫用せず、公共の福祉のために利用する責任を定めています。**公共の福祉は、人権相互の矛盾や衝突を調整する原理にもなるのです。**

■p.53

## 3 18歳選挙権をふまえて政治参加への意識を高める

▶ 参政権(教科書p.53-54)や選挙制度(教科書p.75-76)などの単元において**18歳選挙権**について解説しています。

生徒たちも投票する場面が近づいていることを理解させることで、**政治参加**への意識を高められるようにしています。



↑第24回参議院議員選挙で期日前投票をする高校生(2016年) 国政選挙ではこの選挙から選挙権年齢が18歳以上になりました。少子化に伴って有権者が高齢者に偏ることを防ぎ、若年層の声が政治に反映されることが期待されています。

資料活用...なぜ選挙権年齢は18歳以上に引き下げられたのだろうか。

■p.75

## 4 身近な社会の課題に取り組むことの大切さを実感

▶ 地方自治について学習する節を政治単元のまとめとして最後に設置しています。


その際、まちの予算案を考える作業を通じて、**まちの問題を自分自身との関わりから捉え**、身近な社会の課題に取り組むことの大切さを実感できるようにしています。

**3** 自分が住むまちの予算案を考えよう


**やってみよう3**

- 優先順位をつけよう**  
最初につくった図①を元に「目指すまち」の姿を見据えつつ、どの歳出項目を優先するか、効率、公正の見方・考え方をういて決めよう。
- キャッチフレーズを考えよう**  
優先した歳出項目を元にして、グループとして、目指すまちのキャッチフレーズを考えてみよう。
- 予算案を円グラフにまとめよう**  
右の円グラフに記入しよう。

**高齢者に優しい予算案**



**学校に力を入れる予算案**



〈記入例〉

ア 民生費	イ 教育費
ウ 公債費	エ 土木費
オ 総務費	カ 衛生費
キ その他	

■p.102



第3部「経済」では、市場経済の大枠や「**経済の三主体**」など経済単元の基礎となる概念を最初に理解できる配列にしています。その理解をふまえ、消費者、企業、政府それぞれの視点から、**これからの日本経済や財政などの課題**に向き合い、「持続可能な社会」の実現に積極的に参画する意識を養えるようにしています。

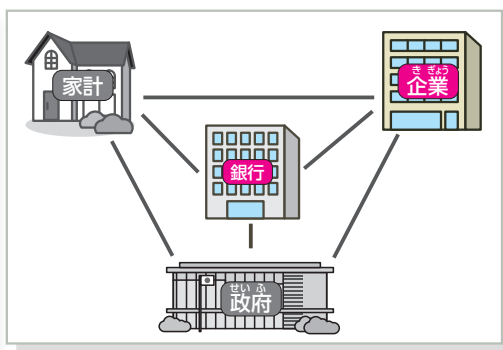
第3部の流れ

学習の前に	第1章 市場経済			章の学習を振り返ろう	第2章 財政	章の学習を振り返ろう
	私たちの生活と経済 ①	消費者と経済	企業と経済 ②			

## 1 経済単元の基礎となる概念を最初に学べる構成

▶市場経済における「**分業と交換**」の意義や、「**経済の三主体**」、「**需要と供給**」など、市場経済の大枠についての学習を、部の最初に配置しています。その上で、経済の三主体を「消費者」「企業」「政府」の順で学習できます。さらに経済の三主体の模式図を関連する節の最初に設置し、学習内容の位置づけをわかりやすくしています。

経済活動は、**家計(または消費者)**、**企業**、**政府**の3者によって行われます。この3者の中で、商品がお金と交換され、循環しています。私たちがお金を使って生活に必要な商品を買うのも、経済活動です。**つまり経済活動は、私たちが生活するための手段であり、多くの商品とお金が交換され、活発に流れることを通じて、私たちの生活をより豊かにする活動といえます。**



▶p.110

▶p.127 この節で学習する経済主体

▶p.151-152

## 2 経済についての「生きた知識」が身に付けられるコーナー「パン屋を起業しよう」

▶第3節「企業と経済」には、**パン屋の経営を疑似体験するコーナー「パン屋を起業しよう」**を設けています。起業にあたって直面する課題に自分ならどう対応するかを、下表の①～⑦の段階を追って考えていくことで、本文の学習内容を実感をともなって理解し、「**生きた知識**」が無理なく身に付けられるようにしています。

### ① パン屋の企画書を書く

疑似体験コーナーの入り口として、学習する前の知識でパン屋の**企画書**を書き、節の学習に見通しをもちます。

パン屋を起業しよう① ～企画書を書いてみよう～

パン屋の企画書の例 ▶▶p.128

【企業名】	◇夢空ベーカリー
【事業内容】	◇パンの製造・販売
【セールスポイント】	◇おいしくてヘルシーなパンを作り、満足していただけるよう努力します。
【店の場所】	◇東京都目黒区内
【開業資金(元手)】	◇自分の預金 200万円 銀行から借りる 800万円
【その他】	◇取引銀行 いちご銀行 ◇従業員 家族とパートで5人

### ② 本文のページで自分なりに考え、選択する

本文で学習した内容を活用して自分なりに考える作業を行うことで、「**生きた知識**」が身に付けられます。

パン屋を起業しよう② ～どのような形態で起業する?～

パン屋といっても、その形態はさまざまです。どのようなパン屋を起業したいのかによっても、その形態は変わってきます。あなたの選択とその理由は?

**選択肢**

A: 建物を不動産業者から借りて店舗をつくらせて販売する  
B: 建物を借りずに自宅を店舗にして販売する(車による移動販売など)  
C: 店舗を持たずに販売する  
D: その他

**パン**

Cの場合  
長所: 店舗の賃料がかからない  
短所: 販売量や販売できる時間に限りがある

▶p.130

### ③ 企画書を完成させる

節の学習を振り返り、**企画書を完成**させます。以前の企画書と比較することで、学習の深まりを実感できます。

企業名 株式会社 Le Pain(ル・パン) ▶p.144

事業内容 パンの製造・販売  
セールスポイント おしゃれでヘルシーな、おいしいパンをつくり、満足していただけるよう努力します

キャッチコピー **おしゃれでヘルシー**

事業所 東京都目黒区中目黒の住宅地、近(ク)のデパート、パティ(フランス)

資本金 1000万円

従業員数 家族と正社員30名、パート社員50名

取引先 ふどうテック/ロジック いちごオープン

採用方針 パンが好きで、他店で経験のある人を優先して採用します

労働条件 午前勤務、午後勤務の交代制  
新しいパンの企画が採用されれば時給をアップします

福利厚生 女性も働きやすいよう、産休・育児休業制度を充実させます

社会的責任 「食品ロス」をゼロに近づけて環境にも配慮します

### 「パン屋を起業しよう」コーナー一覧

番号	タイトル	教科書掲載ページ
①	企画書を書いてみよう	p.128
②	どのような形態で起業する?	p.130
③	起業の資金をどう調達する?	p.132
④	利益をどう回復させる?	p.136
⑤	人手不足にどう対応する?	p.138
⑥	長時間労働を減らしたい!	p.140
⑦	「食品ロス」ゼロを目指すには?	p.142
	企業の企画書を完成させよう	p.143-144

### 4 これからの日本の経済と私たち

日本の経済において、将来に向けてどのような動きが見られているのだろうか。

経済活動のデジタル化 今日では、インターネットを通じて音楽や映画・ゲームを楽しむ人や、本や新聞・雑誌をスマートフォンやタブレット端末で読む人が増えています。ホテルの予約から切符の購入までネット上での取り引きが広がっています。このように、さまざまな経済活動がネットを通じて提供されていく現象は**経済活動のデジタル化**とよばれます。

なかでも、ある人が持つモノやサービスを、情報通信技術(ICT)を通じて、それを利用したい人につなぐしくみである**シェアリングエコノミー**が注目されています。例えば、不要なモノやサービスをネット上で販売することや、自宅などの空いた部屋を貸し出す民泊、自家用車ですらを運ぶライドシェア(相乗り)などがあります。これらは、主に個人間のやり取りであり、安全性の面で課題もありますが、例えばネット上での売買の普及で商品の配送サービスの利用が増えるなど、関連するサービスの拡大なども期待されています。

また、日本が国際的な競争力を持つ「ものづくり」の産業でも、デジタル化の動きが進んでいます。自動車産業とICT産業が提携して開発している自動運転技術もその一例です。自動車産業は、部品や組み立てなどで多くの企業が分業しており、デジタル化などの変化は日本経済の産業構造にも大きな影響を与える可能性があります。

経済成長率と労働力人口増加率(内閣府資料、ほか) 働き手の減少は経済活動の担い手が減ることを意味し、経済成長にマイナスの影響をもたらします。しかし、より生産を効率的に行うことができれば、経済成長が可能です。

公道を走る自動運転車(愛知県春日井市)



第4部の流れ

学習の前に	第1章 国際社会		章の学習を振り返ろう	第2章 課題の探究
	紛争のない世界へ ①	貧困解消と環境保全 ②		

1 紛争のない世界の実現を考える

シリアでの紛争の事例などを紹介し、国際社会における紛争の現状や、平和の実現に向けた取り組みの大切さを理解できるようにしています。その上で、国際社会において日本がどのような国際協力をしていくべきかを、戦後日本の外交方針や日米安全保障条約などをふまえて考えられるようにしています。



**シリアでの紛争**  
シリアでは、2011年に起こった反政府デモがきっかけとなり、政府との暴力的な対立に至りました。政府側・反政府側を支援する周辺国・大国の存在や、争いに加わっている武装勢力の存在が、紛争の解決を難しくしてきました。シリア全土で30万人以上の死者が出ており、1300万人以上の人が国内外で避難生活を強いられるとされています。

資料活用 紛争が続くと、どのような問題が生じるのだろうか。

p.179

2 地球的課題に取り組む事例から自分たちにできることを考える

貧困や地球環境問題などの地球的課題の解決に向けて、国際社会で行われているODAやフェアトレード、マイクロクレジットなどの取り組みを紹介しています。そうした理解をふまえて、国際社会に目を向け、自分たちなりにどのように関わっていくべきかを考えられるようにしています。



p.190 日本のODAで建てられた小学校

また、貧困を解消するために、先進国の政府を中心に**政府開発援助(ODA)**が行われています。食料援助、教育普及、社会資本整備など、幅広い分野に資金や技術が提供されています。さらに民間の団体が中心となり、自立した生活を支える取り組みも行われています。例えば、発展途上国産の農作物や製品を適正な価格で取り引きする**フェアトレード**や、社会的に弱い立場にある人々が起業するための資金を融資する**マイクロクレジット**などが行われています。

p.190

第4部「国際」の第1章では、紛争や貧困、地球環境問題などの**地球的課題**の現状を理解した上で、国際社会のよりよい発展に向けて、国際社会やNGO、そして私たちに求められている取り組みを考えられるようにしています。

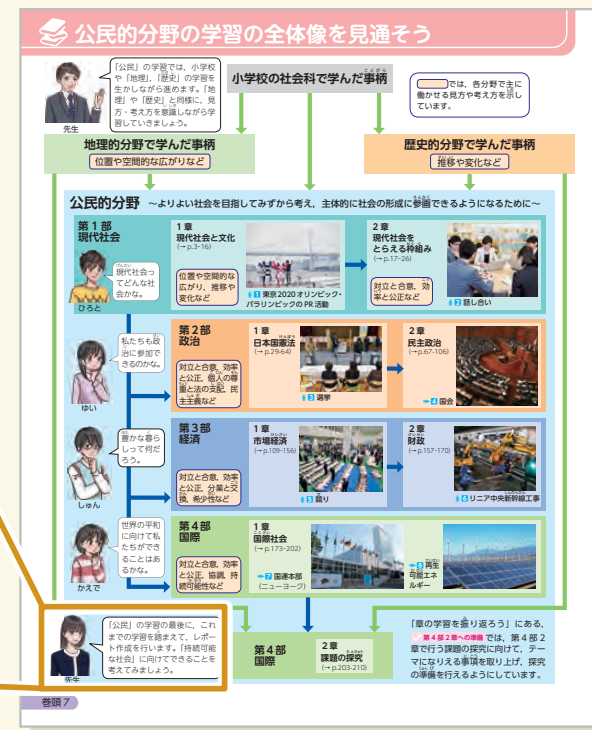
第2章では、中学校社会科の総まとめとして、「持続可能な社会」を実現するという観点から諸問題の解決方法を考察・構想し、「**中学校の卒業論文**」として論述できるようにしています。

3 段階を追ってレポートの練習ができる構成

**ステップ1**  
レポートの作成を日頃の学習でも意識する

巻頭に「**公民的分野の学習の全体像を見通そう**」を設置し、第4部第2章でレポートの作成を行うという見通しをもてます。

先生  
「公民」の学習の最後に、これまでの学習を踏まえて、レポート作成を行います。「**持続可能な社会**」に向けてできることを考えてみましょう。



巻頭7 公民的分野の学習の全体像を見通そう

**ステップ2**  
小レポートを書く練習をする

「章の学習を振り返ろう」には、小レポートを書く練習ができる「**第4部2章への準備**」を設置しています。

第4部2章への準備  
p.11~12「**伝統文化の存続**」  
① あなたの住むまちに残る伝統文化や、その  
② ①の伝統文化を存続していくにあたっては  
③ ①の伝統文化を存続していくにはどうすればいいか

p.16 第4部2章への準備

**ステップ3**  
「**中学校の卒業論文**」を作成する

公民的分野の学習のまとめとなる第4部第2章「**課題の研究**」では、「**見方・考え方**」を働かせながら**多面的・多角的に考察・構想**し、中学校社会科の総まとめとして「**中学校の卒業論文**」を作成できるようにしています。

p.206 考察しよう



# 社会科3分野共通の特色

## ① 3分野の関連を図った10のポイント

社会科3分野(地理・歴史・公民)での関連や、地図帳、小学校との関連を図っています。また、共通で防災・領土・SDGsを重視しています。

### 1 主体的・対話的な学びを促す「導入」

本資料 p.5-10

写真やイラストを効果的に使った導入を設けています。興味・関心を高めるだけでなく、これから学ぶ内容を見通すことができます。

#### 公民 「学習の前に」 教科書p.27-28など



#### 地理 「写真で眺める南アメリカ州」 教科書p.108-109など



#### 歴史 「タイムトラベル」 教科書p.48-49など

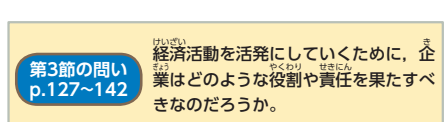


### 2 単元を貫く「章(節)の問い」

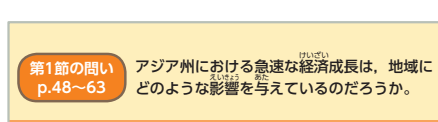
本資料 p.17-18

章(節)のまとまりごとに「問い」を設け、見直しをもって学習に取り組みます。

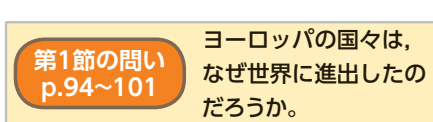
#### 公民 「節の問い」 教科書p.127など



#### 地理 「節の問い」 教科書p.50など



#### 歴史 「節の問い」 教科書p.94など

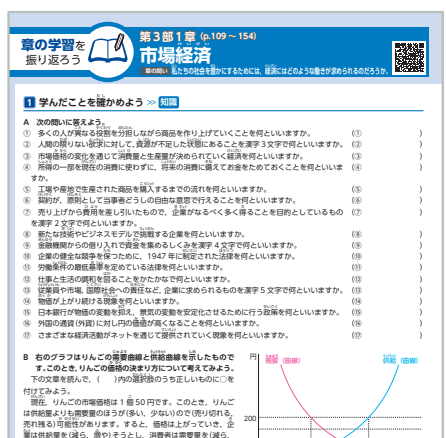


### 3 深い学びに導く「章(節)の学習を振り返ろう」

本資料 p.21-22

章(節)を通して得た知識および技能を生かして課題に取り組むことで、思考力・判断力・表現力を育み、深い学びにつなげられます。

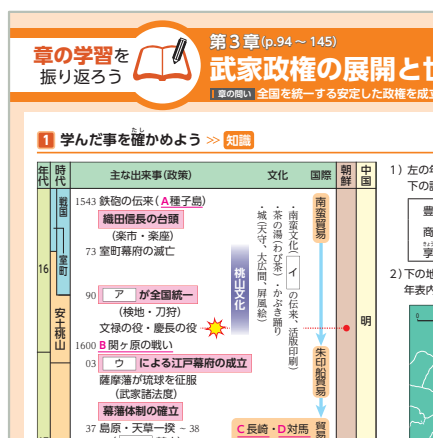
#### 公民 「章の学習を振り返ろう」 教科書p.155-156など



#### 地理 「節の学習を振り返ろう」 教科書p.106-107など



#### 歴史 「章の学習を振り返ろう」 教科書p.146-147など



## +α アルファ 地図帳との関連

▶ 地図帳との関連付けにも配慮しています。少子高齢化の都道府県別の状況を確認できます。

総人口における15歳未満の子どもの数が減る少子化と、65歳以上の高齢者の割合が増える高齢化が同時に進んでいくような社会を、少子高齢社会といえます。

p.7

65歳以上人口割合(%)2018年	合計特殊出生率2017年	おもな伝統的工芸品・特産物(青文字は伝統的工芸品)	都道府県	県番号
30.3	1.29	アットゥシ織、てんさい、じゃがいも、あずき、バター	北海道	1
31.2	1.43	津軽塗、りんご、にんにく	青森	2
31.6	1.47	岩谷堂たんす、南部鉄器、りんどう、わかめ	岩手	3
26.6	1.31	こけし、雄勝すずり、さめ、養殖かき	宮城	4
35.0	1.35	かば細工、川連漆器、じゅんさい、はたはた	秋田	5
31.9	1.45	天童将棋駒、曹洞焼、さくらんぼ、西洋なし	山形	6
29.5	1.57	伊勢崎がすり、桐たんす、ねぎ、茶	福島	7
27.7	1.48	結城紬、空閑焼、れんこん、くり、ピーマン	茨城	8
27.1	1.45	結城紬、益子焼、いちご、かんぴょう	栃木	9
28.3	1.47	伊勢崎がすり、桐たんす、ねぎ、茶	群馬	10
25.5	1.36	人形、桐たんす、ねぎ、茶	埼玉	11

▶ 地図帳p.172

### 4 毎時間の学習における「問い」

▶ 章(節)の「問い」を受けて、見開きで「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」を設置し、毎時間で学習の到達点を確認できるようにしています。

本資料 p.19-20

#### 公民

本文ページ  
教科書p.141-142など

#### 地理

本文ページ  
教科書p.100-101など

#### 歴史

本文ページ  
教科書p.132-133など

### 5 各所で働かせている「見方・考え方」

▶ 深い学びのカギとなる「見方・考え方」は、本文ページや章(節)末の「学習を振り返ろう」など、さまざまな箇所で見つけることができます。

本資料 p.27-30

#### 公民

教科書  
p.18-20,156など

#### 地理

教科書  
巻頭7p.107など

#### 歴史

教科書  
p.12,147など

### 6 小学校との関連を図る工夫

▶ 小学校での既習事項を生かせるよう、問いの文章を工夫したり、小学校の学習事項を提示したりしています。

本資料 p.55

#### 公民

「小学校・地理・歴史との関連」  
教科書p.55など

#### 地理

「小学校・歴史・公民との関連」  
教科書p.214など

#### 歴史

「小学校・地理・公民との関連」  
教科書p.100など

### 7 防災意識を育む工夫

▶ 地理では災害の要因となる現象、歴史では災害の経験、公民では災害に対する行動を扱い、防災意識を育めるようにしています。

本資料 p.1,27,33

#### 公民

「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」  
教科書p.17など

#### 地理

「日本のさまざまな自然災害」  
教科書p.148-149など

#### 歴史

「未来に向けて」  
教科書p.87,227など

### 8 我が国の領土への理解を深める工夫

▶ 地理では日本の領域の範囲、歴史では領土画定の経緯、公民では国としての対応を扱い、我が国の領土について詳しく理解できるようにしています。

本資料 p.55

#### 公民

「領土を巡る取り組み」  
教科書p.175-176など

#### 地理

「日本の領域とその特色」  
教科書p.18-19など

#### 歴史

「日本の領土画定と近隣諸国」  
教科書p.266-267など

### 9 SDGsへの意識を育む工夫

▶ 地理では地域の事例、歴史では過去の経験、公民では自らが考える課題として、SDGsについての理解が深まるようにしています。

本資料 p.14,16,30

#### 公民

「国際社会のよりよい発展」  
教科書p.195-196など

#### 地理

「地域の在り方を考える」  
教科書p.234など

#### 歴史

「多面的・多角的に構想する-未来に向けて」  
教科書p.286-287など

### 10 地図の活用を促す工夫

▶ 小中高を通じて空間的な認識を高めるため、特に地図は豊富に掲載しています。

本資料 p.55

#### 公民

「沖縄からの距離」  
教科書p.185など

#### 地理

「近畿地方」  
教科書p.203など

#### 歴史

「欧米諸国の世界進出」  
教科書p.156-157など

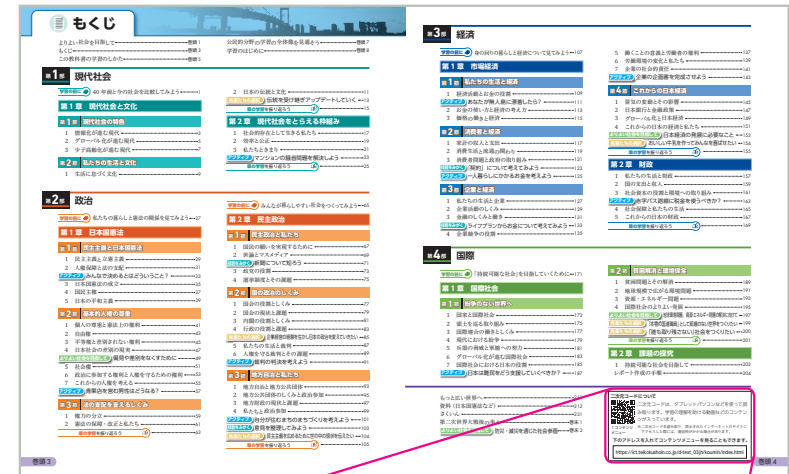
共通の特色



# 社会科3分野共通の特色

## ② 二次元コード コンテンツ

アクセス先には、学習を支援するさまざまなコンテンツを収録しています。



■ 巻頭3-4

公民的分野は、  
二次元コード計25か所、  
コンテンツ全107点  
収録しています！

### 二次元コードについて

二次元コードは、タブレットパソコンなどを使って読み取ります。学習の理解を助ける動画などのコンテンツが入っています。  
※二次元コードを読み取り、表示されたインターネットのサイトにアクセスした際には、通信料がかかる場合があります。

レスを入れてコンテンツメニューを見ることができます。

[ict.teikokushoin.co.jp/d-text\\_03jh/koumin/index.html](http://ict.teikokushoin.co.jp/d-text_03jh/koumin/index.html)

読み込むと…

■ 二次元コードのメニュー画面



### 公民的分野 「二次元コード」掲載ページ一覧

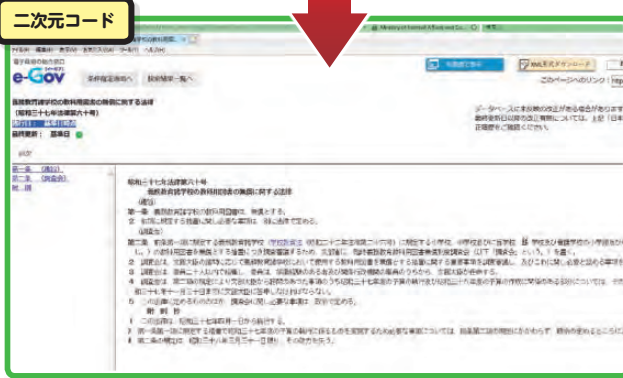
類	二次元コードの内容	教科書のページ	コンテンツ数
1	巻末条文リンク集	p.212	37
2	「まとめ方」アニメーション	p.102,103	3
3	「先輩たちの選択」インタビュー動画	p.13,104	2
4	「学習の前に」コンテンツ	p.1,27,65,107,171	5
5	学習を振り返ろう「知識」	p.15,25,63,105,155,169,201	7
6	NHK for School	p.3,29,67,109,157,173	52
7	防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう	p.17	1

### 1 巻末条文リンク集

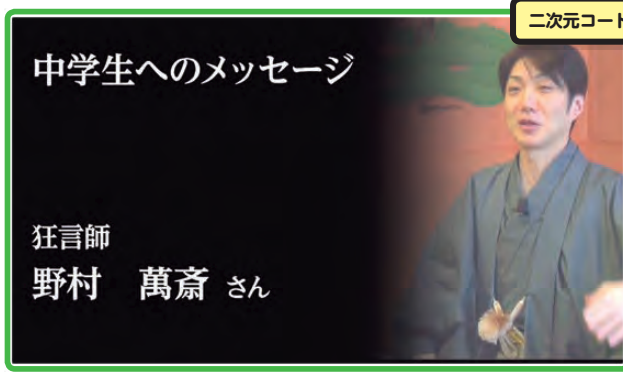


▶ 憲法・法令の全文を掲載しています。(37件)

■ p.212



### 3 「先輩たちの選択」インタビュー動画



▶ 狂言師・野村萬齋さんとジャーナリスト・池上彰さんによる、「中学生へのメッセージ」の動画を掲載しています。(2件)

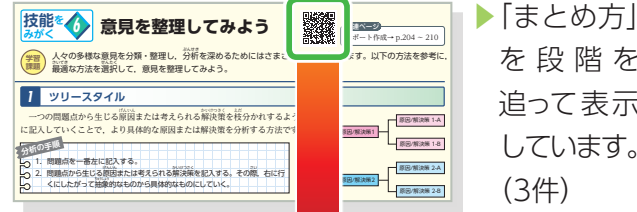
### 5 学習を振り返ろう「知識」

▶ 「章の学習を振り返ろう」の知識部分の解答を確認できます。(7件)

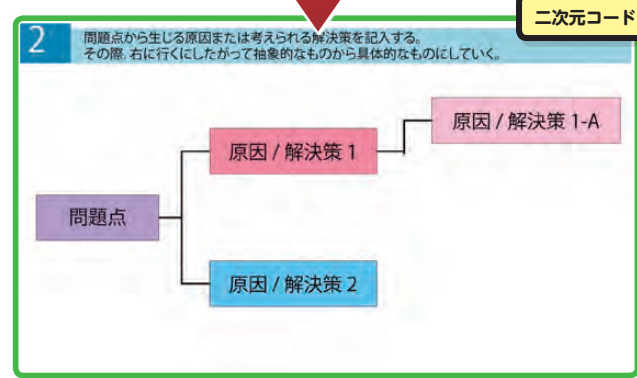
### 7 防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう

▶ 教科書p.17のイラストを拡大できます。(1件)

### 2 「まとめ方」アニメーション



■ 教科書p.103



### 4 「学習の前に」コンテンツ



▶ 「学習の前に」に掲載している「やってみよう」の解答を確認できます。(5件)

### 6 NHK for School



▶ 学習内容に関連したコンパクトな動画を掲載しています。(52件)



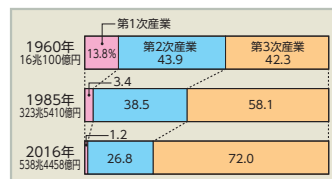
# 社会科3分野共通の特色

## ③ 特別支援教育・インクルーシブ教育への配慮

### 1 カラーユニバーサルデザインに配慮した見やすくわかりやすい色調

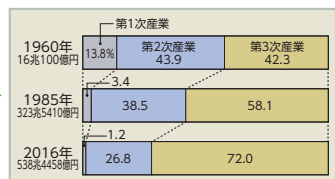
すべての生徒にとってグラフや資料が読み取りやすいよう、色覚特性をもつ人が同じように見えてしまう色を隣どうしに配置することを避けたり、境界線を黒ではっきりと書いたりしています。

カラーユニバーサルデザインに配慮した図

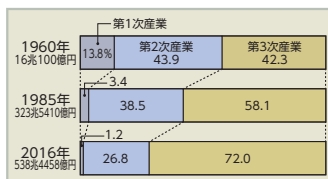


p.152

D型色覚\*の人の見え方



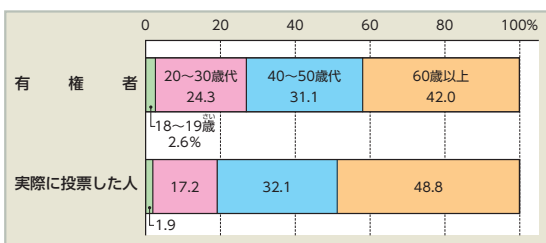
P型色覚\*の人の見え方



\*色覚特性のD型とP型は、特性のなかでも代表的なものです。上の図は、これらの色覚特性をもつ人の色の見え方をシミュレーションしたものです。

### 2 特別支援教育等に配慮した表現

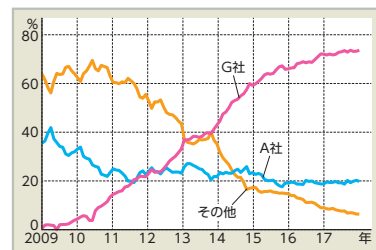
帯グラフ



p.100

どこまでが同一の資料であるのかわかりやすいよう、図の周囲をグレーで囲んでいます。上の図の場合、項目名と目盛り線がまとまって一つの資料を構成することがわかります。また、引き出し線の起点を明確にするため、黒点で表現しています。

折れ線グラフ



p.136

グラフが読み取りやすいよう、折れ線の太さを太くし、背景を白色にしています。

### 3 読みやすく誤読を防ぐ文字

誤読を防ぎ、すべての生徒にとって読みやすくなるよう、見開きタイトル、本文、図版タイトルなどにはユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用しています。

非UDフォント

ざいせい  
財政とよびます

UDフォント

ざいせい  
財政とよびます

- 文字の細い部分を太くして、見やすくする。
- 紛らわしい画線をやめ、シンプルなデザインにする。
- 濁点部分のすきまを十分確保して視認性を高める。特に濁点のあるふりがなが読みやすくなっています。

非UDフォント

1946年11月3日

UDフォント

1946年11月3日

- 文字と線が判別しやすい。特に数字の「9」と「6」の区別や、数字の「3」とアルファベットの「S」などの区別がしやすくなっています。

### 4 学習単元がわかる工夫

現在学習しているのがどの章なのか一目でわかるよう、学習単元の章ごとに色を統一しています。



### 5 学習が進めやすい工夫

- ▶レイアウトの違いによる生徒の混乱を防ぐため、導入資料や学習課題、振り返りの設問を各ページの同じ場所に配置し、見開きのレイアウトを原則統一しています。
- ▶「見通し・振り返り学習活動」がしやすいよう、「導入資料、学習課題(見通し)→本文→確認しよう、説明しよう(振り返り)」で見開きの展開を統一しています。

詳しくは本資料 p.19-20

すべての生徒にとって見やすくわかりやすい表現にしています。

### 軽さと丈夫さを求めた新用紙

- ▶新しく教科書専用の用紙を開発し、1ページあたりの紙の重さが現行版よりも約5%軽くなっています。増ページによる重さの負担を最小限に抑えています。
- ▶長期の使用にも耐えられる堅牢な製本仕様になっています。



### サポート

## 特別支援教育のための教科書と地図帳

### 『拡大教科書』(無償給与対象)

▶中学校用教科書の拡大教科書を発行しています。文字や資料を大きく目立たせ、レイアウトを見やすく改善しています。

#### ■ ページ数の比較 (平成28年度版中学校用公民教科書の場合)

通常教科書	拡大教科書(6分冊)
全242ページ	全1852ページ

#### ■ 同サイズでの紙面の比較(例)

3 情報化が進む現代

学習課題 ▶ 情報化のさらなる進展は、私たちの生活にどのような影響をもたらすのでしょうか。

情報化とは

友達と連絡をとるとき、かつては手紙や自宅の固定電話、公衆電話を利用するが、直接会いに行くかありませんでした(→)

『拡大教科書』  
のご案内



『みんなの地図帳』  
～見やすい・使いやすい～  
のご案内



### 『みんなの地図帳』

～見やすい・使いやすい～(有料)

▶記載内容を大幅に精選し、文字の置き方や大きさ、色づかいなど、見やすくなるよう工夫されています。

日本視覚障害社会科教育研究会編集、帝国書院発行



### デジタル

### 『デジタル教科書』(有料)

▶デジタル教科書においても、特別支援教育に配慮した機能を搭載しています。

デジタル教科書の詳しい説明はp.47-48



# 教科書指導のサポート

## ① デジタル教科書・教材

※ラインナップやコンテンツ等、一部内容が変わる場合があります。最新情報は、右の二次元コードよりご確認ください。  
【中学校 社会科Webへ】



スムーズに動く  
新ビューア!



動作が速く、多彩な機能・コンテンツを収録した  
新ビューア「超教科書」を採用しています。

### 帝国書院のデジタル教科書・教材ラインナップ【有料】

#### ① 指導者用 デジタル教科書(教材)

- ▶ デジタル教科書とデジタル教材(コンテンツ)の一体型。
- ▶ 拡大・縮小や書き消し、保存などの基本機能は標準装備。
- ▶ 右ページの特別支援教育対応機能、コンテンツともに収録。

**+α** 5つの授業支援ツールを用意

#### ② 学習者用 デジタル教科書

- ▶ 紙の教科書と同一の内容を収録。
- ▶ 拡大・縮小や書き消し、保存などの基本機能は標準装備。
- ▶ 右ページの特別支援教育対応機能を収録。

※②と③を購入することで、学習者用もデジタル教科書とデジタル教材(コンテンツ)の一体型として活用できます。

#### ③ 学習者用 デジタル教材

- ▶ 拡大・縮小や書き消し、保存などの基本機能は標準装備。
- ▶ 教科書に準拠したコンテンツ集。

指導者用デジタル教科書(教材)に用意する

帝国書院  
オリジナル

## 5つの授業支援ツール

授業支援ツールの  
紹介動画はこちら

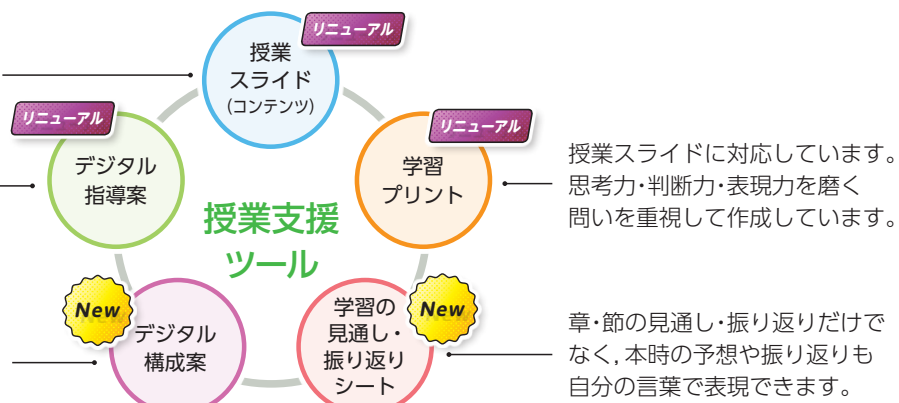
【中学校 社会科Webへ】



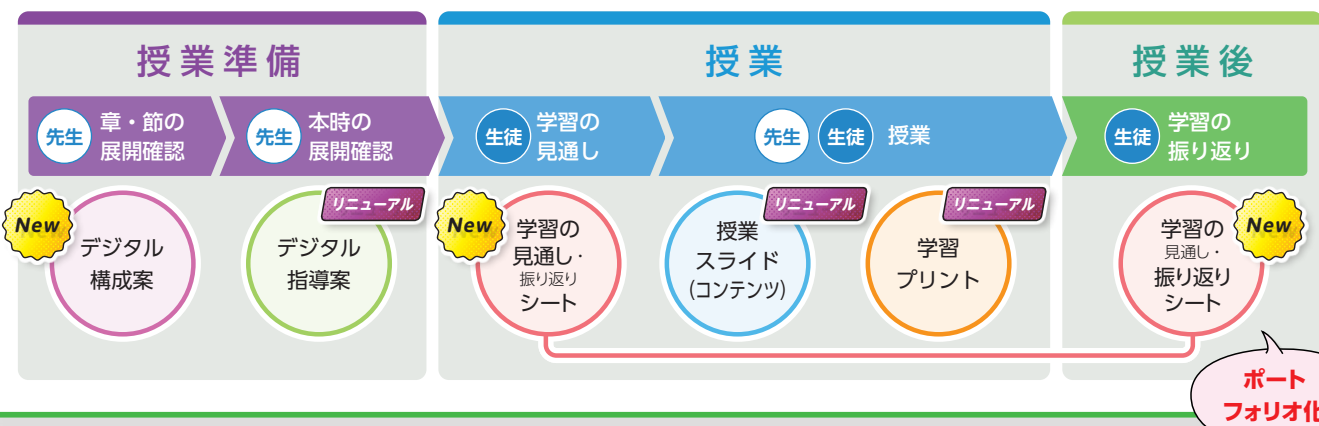
1時間の授業展開を10枚前後の  
スライドで構成し、コンテンツを有効  
活用した授業が実現できます。

提示資料をビジュアル化し、  
指導のポイントや問いを  
例示しています。

章・節の評価規準例や本時の目標・  
指導のポイントがひと目でわかります。



〈授業支援ツールを活用した授業展開イメージ〉



Webサイト上で体験できます!

Web体験版はこちら  
【中学校 社会科Webへ】



※地図帳や地理的分野、歴史的分野の各デジタル教科書と併せて体験ができます。

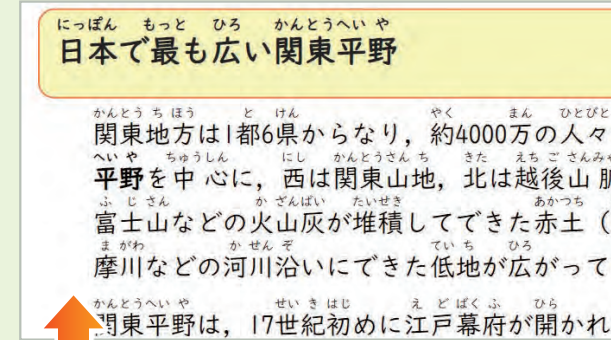
### 特別支援教育 対応機能

- ▶ リフロー表示\*や総ルビ、白黒反転、読み上げの機能を用意しています。以下に、リフロー表示におけるさまざまな機能を示しています。
- ※書体や文字サイズ、行間、余白などを自由に変更して表示する方式

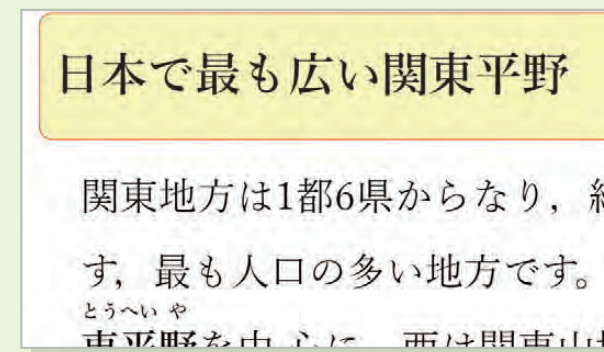
通常のデジタル教科書の紙面 (地理を例に)



総ルビ

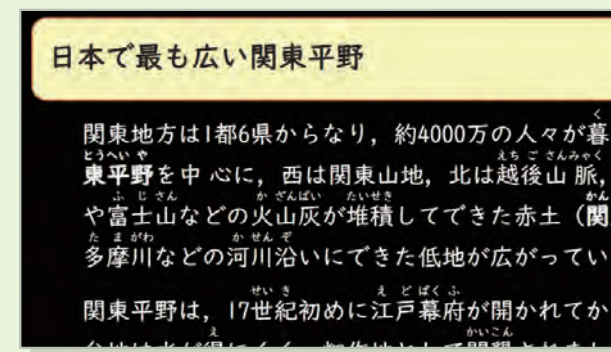


書体, 文字サイズ, 行間, 余白の変更



※書体が明朝体, 文字サイズ180%, 行間1.2倍, 余白1.5倍の場合

白黒反転



読み上げ機能も付いています。  
リフロー経由でなく、通常のデジタル教科書の  
紙面に対しても総ルビ、白黒反転を用意しています。

実際の操作は、  
体験版で!

### おもなコンテンツ

- アニメーション・シミュレーション (需要曲線と供給曲線など)
- 経済年表
- 「学習の前に」コンテンツ
- 日本国憲法および法令コンテンツ など



# 教科書指導のサポート

## ② 教師用指導書・指導者専用サイト・定期刊行冊子など

充実したさまざまなサポートを用意しています。

### 教師用指導書【有料】(令和3年3月発行予定)

教科書に準拠した指導書で授業をサポートします。

教師用指導書のご案内  
(令和2年5月頃公開予定)



### 指導書の内容

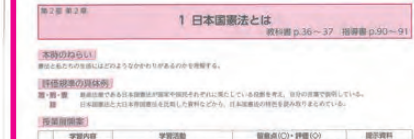
- 1 指導用教科書(朱書き)編
- 2 指導・評価計画編
- 3 学習プリント
- 4 Webサポート

※一部内容が変わる場合があります。

### 1 学習の前に 30年前と今の社会を比較してみよう



指導用教科書(朱書き)編のイメージ  
(画像は平成28年度版)



学習内容	学習活動	指導法(1)・評価(1)	指導資料
ローソクアップ	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。
ローソクアップ	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。

指導・評価計画編のイメージ(画像は平成28年度版)

### 2 2 国民主義と私たち

学習内容	学習活動	指導法(1)・評価(1)	指導資料
ローソクアップ	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。
ローソクアップ	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。	ローソクアップの活動を通して、日本国憲法の意義や役割について理解を深めよう。

### ポイント

- 1 「指導用教科書(朱書き)編」は図版・本文解説・板書例など、授業で使えるネタが満載です。
- 2 「指導・評価計画編」は年間指導計画案や単元構成案、授業展開案などに評価規準を掲載しています。
- 3 「学習プリント」は毎時間ごとのワークシートで、授業をサポートします。
- 4 「Webサポート」は図版データやテスト例などを収録する予定です。最新情報を随時アップできるように、従来のCD-ROMからWeb上でのサービスに切り替える予定です。

※Webサポートへの認証IDは、ご購入いただいた教師用指導書内にて提示する予定です。

指導者専用サイトの  
ご案内



### 指導者専用サイト(学校の先生方限定)【無料】

無料でご利用いただける登録制の「指導者専用サイト」を開設しています。ダウンロードして活用できるワークシートなど、さまざまなコンテンツを多数収録しています。情報は随時更新していきます。



### おもな収録コンテンツ

「中学校 社会科のしおり」  
授業研究コーナー対応ワークシート

プレミアム写真館(世界・日本)

白地図 など

### ポイント

小学校や中学校などの学校種の枠を超えて、社会科に関するあらゆる情報が入っています。

### 定期刊行冊子(「中学校 社会科のしおり」)【無料】

中学校の先生方を対象にした、定期刊行冊子『中学校 社会科のしおり』を発行しています。地図帳活用のほか、社会科の学習における授業実践例や、学習指導要領などに関する社会科教育の情報を掲載しています。



定期刊行冊子のご案内

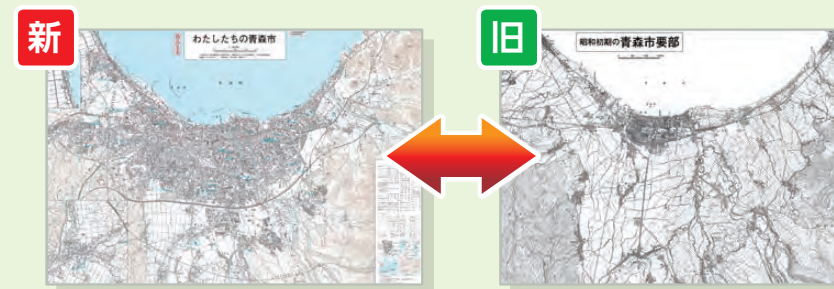


地域版地図のご案内



### 地域版地図【有料】

教育委員会などからの委託を受けて作成する、オーダーメイドの地図です。新旧比較の地図や、林間学校の訪問先を入れた地図などに、カスタマイズできます。



例：青森市での新旧地形図の比較

サポート



# 『社会科 中学生の公民』の特色一覧

## ① 教育基本法との対応

下表のデータはこちら  
[Excelデータ]



教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
<b>第1号</b> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各部などの冒頭に、大きなイラストから読み取り作業を行う「<b>学習の前に</b>」を設けた。これにより、<b>生徒の興味・関心を引きつけ、「主体的な学び」を促せるようにした。</b>(p.1-2,27-28,65-66,107-108,171-172)</li> <li>●章や節のはじめの「章の問い」「節の問い」、各見開きの「学習課題」と「確認しよう」「説明しよう」、章や節の終わりの「振り返ろう」というように問いを構造化することで、<b>単元のまとまりのなかで「深い学び」が実現できるように構成した。</b>(全編)</li> <li>●本文は、具体的に例示したり、社会的な事象の背景や因果関係までわかるようにしたりするなど丁寧でわかりやすくし、<b>幅広い知識と教養を無理なく身に付けられるようにした。</b>(全編)</li> <li>●「章の学習を振り返ろう」の右ページでは、「<b>社会的な見方・考え方を働かせた言語活動を行う</b>」ことで、<b>学んだ知識に基づいて「深い学び」が実現できるようにした。</b>(p.16,26,64,106,156,170,202)</li> <li>●実社会のさまざまな課題に取り組む人々へのインタビュー「先輩たちの選択」を設置し、中学生に語りかけるメッセージなどにより、<b>社会に積極的に参画することの大切さを実感し、豊かな情操を培えるように工夫した。</b>(p.13-14,85-86,104,154,199,200)</li> </ul>	おもに 特色1 p.5-10 特色2 p.11-16 特色3 p.17-26 特色5 p.31-32
<b>第2号</b> 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第3部第1章第3節「企業と経済」では、<b>節全体を通して企業経営を疑似体験し、自分なりに意思決定していくコーナー</b>を設けた。これにより、<b>起業の意義を実感をもって理解</b>するとともに、<b>勤労を重んずる態度を養えるようにした。</b>(p.127-144)</li> <li>●特設ページ「先輩たちの選択」を設け、<b>さまざまな職業にやりがいをもって取り組む人々の姿から、勤労の重要性に気がつけるようにした。</b>(p.13-14,85-86,104,154,199,200)</li> <li>●「技能をみがく」コーナーでは、情報収集や議論の進め方などの技能を身に付けられるようにした。(p.24,123-124など計10か所)</li> <li>●インクルーシブ教育に配慮し、<b>誰でも読み取りやすい書体(ユニバーサルデザインフォント)や色調を導入</b>することで、<b>さまざまな特性をもつ生徒の価値を尊重して、その能力を伸ばせるようにした。</b>(全編)</li> <li>●二次元コードを随所に設置することで、<b>授業以外においても生徒が自主的に活用できるように配慮した。</b>(巻頭4など計25か所)</li> <li>●教科書の用紙は、丈夫でありながら従来より<b>単位面積あたり約5%軽量化</b>したものを新たに開発し、持ち運びの際に生徒の負担にならないようにした。(全編)</li> </ul>	おもに 特色2 p.15-16 特色5 p.31-32 および p.37-38 および p.43-46

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
<b>第3号</b> 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特設ページ「アクティブ公民」を設け、<b>社会が直面している課題や問題点に関して自分なりの意見をまとめたり、話し合ったりする場面</b>を数多く設定した。これにより、<b>学習内容をさらに深め、生徒の自主性や創造性を伸ばせるよう工夫した。</b>(p.23-24,33-34,57-58など計10か所)</li> <li>●コラム「未来に向けて」や特設ページ「よりよい社会を目指して」を設置し、<b>人々が連携・協働して社会的な課題に取り組んでいる姿を紹介</b>することで、<b>生徒自身も社会の一員としての公共の精神をもち、主体的に社会の形成に参画する意識を高められるようにした。</b>(p.6,138,196,巻末2-3など)</li> <li>●第4部第2章「課題の探究」では、「<b>持続可能な社会の実現</b>」という観点から、<b>自分の考えをレポートとして作成する手順を具体的に紹介</b>することで、<b>社会的な課題の解決に向けて考察・構想し、論述できるようにした。</b></li> <li>●教科書中のキャラクターは、<b>全体として男女の比率がほぼ同じになるよう留意した。</b>(全編)</li> </ul>	おもに 特色2 p.11-16
<b>第4号</b> 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国連が掲げる「<b>持続可能な開発目標(SDGs)</b>」について解説することで、<b>自然を大切に、環境保全に寄与する意識を高められるようにした。</b>(p.195-196)</li> <li>●特設ページ「よりよい社会を目指して」において、<b>環境の保全に取り組む人々や地方公共団体の事例を多数紹介</b>することで、<b>環境の保全に寄与する態度を養えるようにした。</b>(p.197-198)</li> <li>●第4部第2章「課題の探究」では、<b>環境問題への対応も含めた「持続可能な社会の実現」という観点で考察・構想し、論述していく手順</b>を掲載することで、<b>環境を保全し生命を尊び持続可能な社会をめざす態度を養えるようにした。</b></li> </ul>	おもに 特色2 p.13-16
<b>第5号</b> 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●狂言師・野村萬斎さんのインタビューを通じて、日本の伝統文化の奥深さを知るとともに、<b>伝統を継承し、創造していくことの意義を実感</b>できるようにした。(p.13-14)</li> <li>●第4部第1章第1節「1 国家と国際社会」において、<b>国旗や国歌を相互に尊重することが現代社会の重要な儀礼であることを解説</b>することで、<b>我が国のみならず諸外国の国旗および国歌を尊重する態度を養えるよう配慮した。</b>(p.173-174)</li> <li>●第4部第1章第1節「2 領土を巡る取り組み」において、<b>日本の領土や領域について、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることを明記</b>することで、<b>日本政府の立場や解決に向けた取り組みを丁寧に解説した。</b>(p.175-176)</li> <li>●第4部第1章第1節「7 国際社会における日本の役割」では、<b>日本の国際協力について、ODAや自衛隊による貢献など、さまざまな面から紹介した。</b>(p.185-186)</li> </ul>	おもに 特色2 p.15-16 および p.41-42



# 『社会科 中学生の公民』の特色一覧

## ② 検討の観点から見た内容の特色

下表のデータはこちら  
[Excelデータ]



観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
教育基本法との対応	教育基本法との対応が十分にはかかれているか。	●教育基本法第1条の目標および教育基本法第2条第1～5号に示された内容について、 <b>社会科の目標や学習内容に沿った指導を効果的に行うことができるように構成されている。</b>	おもに p.51-52
学習指導要領との対応	学習指導要領の目標・内容の趣旨に沿ったものであるか。	●単元構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。「もくじ」「この教科書の学習のしかた」「公民的分野の学習の全体像を見通そう」では、 <b>単元構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が一望でき、学習の位置づけや見通しがつかみやすいように工夫されている。(巻頭3-7)</b> ●部や章の学習内容を見通せる「学習の前に」、章・節ごとの単元を貫く問い、政治や経済などのしくみや概念が理解しやすい本文、単元の最後の「節の問いを振り返ろう」「章の学習を振り返ろう」というように <b>単元が構造化され、見通し・振り返りに基づいた単元の学習を確実に実践できるように工夫されている。</b> ●学習指導要領で重視されている「社会的な見方・考え方」について、第1部第2章「現代社会をとらえる枠組み」や特設ページ「アクティブ公民」など、全編にわたって充実している。 <b>(p.17-22,23-24など)</b> ●知識が確実に習得できるように丁寧な本文とし、本文の理解を促す資料を適宜設置している。また、基礎的な技能が身に付く「技能をみがく」コーナーが随所に盛り込まれ、 <b>公民としての資質・能力の基礎を育成できるように配慮されている。</b>	おもに 特色1-5 および p.5-32
内容の配分量程度	全体の分量は、年間標準時数から見て適切か。各単元の配当時数は適切か、系統性が考慮されているか。	●1見開きは1単位時間(以下、時間)の授業が想定され、学習課題が明確に設定されている。 ●授業数は、第1部に11時間(第1章6時間、第2章5時間)、第2部34時間(第1章17時間、第2章17時間)、第3部28時間(第1章21時間、第2章7時間)、第4部24時間(第1章13時間、第2章11時間)が配当され、標準授業時数100時間のうち97時間を活用する配当で、適切である。予備時間は3時間設けられている。	おもに 特色3 p.17-26
	内容の程度・範囲および文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	●本文は、 <b>具体的に例示したり、社会的事象の背景や因果関係までわかるようにしたりする</b> など、丁寧でわかりやすくなっている。また、平易な表現にするなど、中学生の発達段階が考慮されている。 ●本文、図版タイトル、キャプションの難しい漢字にはふりがなが付されている。また、固有名詞や公民用語には適宜ふりがなが付されており、用語や熟語が正しく読めるように配慮されている。 ●文体は「です、ます」調の語り口で、生徒に親しみやすくなっている。 ●中学校学習指導要領の学習範囲を逸脱せず、基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるようになっている。	おもに 特色5 p.31-32
	学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫がなされているか。	●各見開きは、本文、資料、側注などが統一されたレイアウトで配置され、紙面の使い方が整理されている。学習内容が定着するよう、「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。 ●本文と資料の関連する箇所には、 <b>図・写真や他ページへの適切な参照指示</b> が記載され、学習効果を高めるとともに、効率よく資料の活用ができるように工夫されている。 ●各見開きでは、 <b>学習している分野がわかるように、部ごとの色が統一されている。</b> さらに、紙面右端に <b>インデックス</b> が設けられ、全体における位置づけを確認しながら学習できるように工夫されている。 ●用語解説や関連資料が本文のページの側注欄に掲載されており、ページ間を移動する時間が省け、生徒が集中力を切らさないで授業を進められる。	おもに 特色3 p.17-26 特色5 p.31-32
内容の扱い／学習活動	課題解決的な学習を行うための構成・工夫がなされているか。	●単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「第〇節の問いを振り返ろう」と章末の「章の学習を振り返ろう」というように、問いが構造化され、 <b>単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができる構成になっている。</b> ●「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い」に対して「社会的な見方・考え方」を働かせて考えるステップなどにより、 <b>課題解決的な学習ができる工夫がなされている。(p.169-170など)</b>	おもに 特色3 p.17-26

観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
内容の扱い／学習活動	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成・工夫がなされているか。	●「学習の前に」では、大きなイラストから学習内容に関連した事項を探し出す作業を通じて、 <b>生徒の興味・関心を引き出し、「主体的な学び」を促すよう配慮されている。</b> ●実社会のさまざまな課題に取り組む人々へのインタビュー「先輩たちの選択」が設置され、 <b>実社会の人々の話を聞く「対話的な学び」を紙面上で疑似体験できるようにしている。</b> ●単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「第〇節の問いを振り返ろう」と章末の「章の学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、単元のまとまりのなかで「深い学び」が実現できる構成になっている。 ●本文のページは左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを配置し、下部に本文を掲載する学習しやすいレイアウトで統一されている。また、相互にリンクが張られ、資料が活用しやすく工夫されている。 ●特設ページ「アクティブ公民」では、実社会で起きうる問題に対して、 <b>さまざまな立場から考察することを通じて、「深い学び」につなげられるよう配慮されている。(p.23-24,33-34,57-58など計10か所)</b> ●「章の学習を振り返ろう」では、 <b>学習した知識をもとに、「社会的な見方・考え方」を働かせながら主体的・対話的に「章の問い」を振り返ることで、「深い学び」につなげられるよう配慮されている。(p.15-16,25-26など計7か所)</b>	おもに 特色3 p.17-26
	基礎的・基本的な「知識および技能」を確実に習得するための工夫がなされているか。	●見開き1時間の紙面が、 <b>興味・関心を引く「導入」→学習を見通せる「学習課題」→丁寧でわかりやすい「本文」→学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識および技能が確実に習得できるようにしている。</b> ●部や章の冒頭にある「学習の前に」のイラストや資料から学習内容を見通し、「章の学習を振り返ろう」で学習内容を振り返る学習活動ができるようになっている。 ●本文は、全編にわたり社会的事象の背景や概念がわかるように因果関係をふまえた上で、具体例を挙げながらわかりやすく記述されている。 ●「技能をみがく」コーナーが10か所設けられ、 <b>学習する上で必要な基礎的な技能が習得できるよう配慮されている。(p.24,58,71-72,92,102,103など)</b>	おもに 特色1 p.5-10 特色3 p.17-26 特色5 p.31-32
	深い学びを実現させるための「思考力・判断力・表現力等」を育成するための配慮がなされているか。	●本文のページの見開き右下には、「確認しよう」と「説明しよう」が設置されている。「確認しよう」には本時の学習での習得事項を確認する作業課題が、「説明しよう」には本時の学習内容を活用して思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが設けられている。これにより <b>言語活動を毎時間くり返し行い、思考力・判断力・表現力を育成できるよう配慮されている。</b> ●各章末には「章の学習を振り返ろう」が配置され、 <b>章の学習で得た知識を生かして、「社会的な見方・考え方」を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。</b> ●現代の社会で議論されているさまざまなテーマの賛否を示す「Yes No」のコーナーが8か所設けられ、 <b>生徒が自分の考えを整理できるようにしている。</b>	おもに 特色3 p.17-26 特色4 p.27-30 特色5 p.31-32
	「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる社会的な見方や考え方を働かせるための配慮がなされているか。	●「対立と合意」「効率と公正」(第1部)、「個人の尊重と法の支配、民主主義」(第2部)、「分業と交換、希少性」(第3部)、「協調、持続可能性」(第4部)などの公民的分野における「現代社会の見方・考え方」を、各部の本文のページで丁寧に解説している。さらに、特設ページ「アクティブ公民」や「章の学習を振り返ろう」などでは、具体的な事例や意見交換を通して、「現代社会の見方・考え方」を働かせられるように工夫されている。 ●地理的分野や歴史的分野で働かせる「見方・考え方」についても、教科書冒頭の「公民的分野の学習の全体像を見通そう」で振り返るとともに、第4部第2章「課題の探究」でそれらの「見方・考え方」を働かせながらレポートを作成するように促し、 <b>関連が図られている。(巻頭7,p.203-204)</b>	おもに 特色4 p.27-30
	生徒の興味・関心を喚起させ、「主体的に学習に取り組む態度」を育成できるような配慮がなされているか。	●幅広の判型(AB判)で、 <b>写真やグラフ、表などが大きく見やすく提示され、学習への興味・関心が喚起されるように工夫されている。</b> ●部や章の導入として、学習内容を見通すことができるイラストで構成した「学習の前に」が設けられ、 <b>学習内容と生活との関連を見出し、興味・関心を高めてから学習に入ることができるようになっている。</b> ●生徒にとって親しみやすい中学生のキャラクターが各ページに配置され、発問や気づき、学習の手がかりや示唆などを提示することで、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。 ●各見開きの左上に、1時間ごとの導入となる資料が設けられている。ワイドな写真からイメージを喚起したり、学習内容を直感的に理解できるイラストなどから生活との関わりを具体的にイメージしたりして、 <b>学習への意欲を引き出せるようになっている。</b>	おもに 特色1 p.5-10 特色3 p.17-26



観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
内容の扱い／学習活動	小学校・高等学校との接続や関連に配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>部や章などの冒頭にある「学習の前に」の見開き右上に「小学校との関連」コーナーが設置され、小学校での学習事項を振り返り、部などの学習内容を見通すことで、学習効果を高められるようになっている。(p.2など)</li> <li>本文のページ下段には「小学校・地理・歴史との関連」コーナーが設けられ、<b>小学校で学習した内容を確認できる</b>よう、関連用語が提示されている。(p.109など)</li> <li>高等学校の3年生で18歳選挙権を行使する生徒がいることをふまえ、高等学校の前段階である中学校の公民的分野の学習において、<b>主権者としての社会参画の意義をさまざまな面から理解できる</b>ようになっている。(p.99-100など)</li> </ul>	おもに 特色2 p.11-16 特色3 p.17-26
	他分野との接続や関連に配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文ページ下段には「小学校・地理・歴史との関連」コーナーが設けられ、<b>地理的分野・歴史的分野で学習した内容を確認できる</b>よう、関連用語が提示されている。(p.55など)</li> <li>積極的に地図が取り入れられており、地理的分野との接続が考慮されている。(p.185など)</li> </ul>	おもに 特色3 p.17-26
	我が国の伝統・文化、宗教に対する理解を深められるような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1部第1章第2節「私たちの生活と文化」において、伝統・文化や宗教について丁寧に解説するとともに、<b>狂言師・野村萬斎さんのインタビューから、伝統・文化を継承し、創造していくことの大切さを実感できる</b>ようになっている。(p.13-14)</li> </ul>	おもに 特色2 p.11-16
	我が国の領土・領域を正しく理解できるように配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4部第1章第1節「2領土を巡る取り組み」において、北方領土、竹島、尖閣諸島が<b>日本固有の領土であることが明記</b>され、領土に関する現状を示しつつ、平和的な解決に向けた方法が考えられるようになっている。(p.175-176)</li> </ul>	おもに p.41-42
	補充的な学習や発展的な学習に対して、そのような工夫・配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体例を交えた本文やそれを補足する図解などによって、<b>基礎的・基本的な学習内容が定着し、補充的な学習を行いやすくなっている</b>。</li> <li>コラム「未来に向けて」や特設ページ「よりよい社会を目指して」が設置され、現代社会の諸課題に取り組む人々の姿を示すことで、<b>社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを発展的に考えることができる</b>ようになっている。(p.197-198など)</li> </ul>	おもに 特色5 p.31-32
	生徒が家庭でも主体的に自学自習できるような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「この教科書の学習のしかた」を掲載し、<b>自学自習がしやすい</b>よう配慮されている。(巻頭5-6)</li> <li>本文のページには「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が設置され、<b>予習・復習がしやすい</b>ようになっている。また、単元のまとめである「章の学習を振り返ろう」も復習しやすいよう配慮されている。</li> <li>二次元コードで学習内容に関する動画や「章の学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、<b>生徒が自学自習しやすい</b>ように工夫されている。(巻頭4など計25か所)</li> </ul>	おもに 特色3 p.17-26 および p.43-44
今日的な課題への対応	環境教育に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4部第1章第2節では、地球環境問題について、その原因や背景から、解決に向けた取り組みまで紹介されている。(p.191-198)</li> <li>環境問題への対応も含め、<b>「持続可能な社会の実現」という観点から考察・構想し、自分の考えをレポートとして論述できる</b>よう構成されている。(p.203-210)</li> </ul>	おもに p.39-40
	防災に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2部第2章第3節「2地方公共団体のしくみと政治参加」において、地域における防災への住民参加の重要性が解説されている。(p.95-96)</li> <li>教科書の最後のページで中学生も参加している<b>防災・減災の取り組みが掲載</b>され、<b>生徒の参画意識を高める</b>ように構成されている。(巻末2-3)</li> </ul>	おもに 特色2 p.13-16
	人権・平和教育の推進のために、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2部第1章「日本国憲法」において、<b>人権の意義や課題が解説</b>されている。(p.29-62など)</li> <li>コラム「未来に向けて 人権」が6か所設置され、<b>人権に関する課題の解決に向けた取り組みが紹介</b>されている。(p.30,48,68,138,162,196)</li> <li>第2部第1章第1節「5日本の平和主義」において、<b>日本国憲法における平和主義の意義が解説</b>されるとともに、第4部第1章第1節「7国際社会における日本の役割」において、<b>平和主義に基づく日本の国際協力のあり方を考えられる</b>ようになっている。(p.39-40,185-186)</li> </ul>	おもに p.35-36
	グローバル化に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1部第1章第1節「2グローバル化が進む現代」において、<b>グローバル化の概要と社会への影響が解説</b>されている。(p.5-6)</li> <li>第4部第1章第1節「6グローバル化が進む国際社会」において、<b>国際社会の現状と国際協調の重要性が解説</b>されている。(p.183-184)</li> </ul>	おもに p.39-40

観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
今日的な課題への対応	少子高齢化に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1部第1章第1節「3少子高齢化が進む現代」において、<b>少子高齢化の概要と社会への影響が解説</b>されている。(p.7-8)</li> <li>第3部第2章「4社会保障と私たちの生活」において、<b>少子高齢化の現状をふまえた国の財政のあり方を考えられる</b>ようになっている。(p.165-166)</li> </ul>	おもに p.33-34
	情報化に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1部第1章第1節「1情報化が進む現代」において、<b>情報化の概要と社会への影響が解説</b>されている。(p.3-4)</li> <li>第3部第1章第4節「4これからの日本経済と私たち」において、<b>経済のデジタル化や人工知能(AI)の発達などに伴うこれからの日本経済のあり方を考えられる</b>ようになっている。(p.151-152)</li> </ul>	おもに p.33-34
	「持続可能な開発目標」(SDGs)に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4部第1章第2節「4国際社会のよりよい発展」では、「<b>持続可能な開発目標</b>」(SDGs)について解説されている。(p.195-196)</li> <li>コラム「未来に向けて」において、SDGsに関連する項目には<b>SDGsマークが付</b>されている。(p.138など)</li> </ul>	おもに p.39-40
表記・表現	統計、挿絵、写真、図表等は鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連がはかられるなど学習効果を高めるための工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の記述を補足する写真や図表などが豊富に掲載され、<b>学習を深められる</b>ようになっている。</li> <li>学習内容に関連する事項についての参照ページ、参照資料の図番号、「条文参照」などのリンク機能が設けられ、資料の活用を促している。</li> <li>資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が随所に設置され、資料の活用を促している。</li> <li>公民的分野の学習に必要な用語を解説した「<b>解説</b>」のコーナーが側注欄に<b>40項目</b>設けられている。</li> </ul>	おもに 特色5 p.31-32
	特別支援教育やインクルーシブ教育に対して適切な配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文や図版などでは、文字をはっきり読み取ることができ<b>ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)</b>が使用され、<b>誤読を防ぐ</b>ように配慮されている。</li> <li>見開きのデザインや、グラフ・地図などの資料には、<b>色覚特性をもつ生徒も識別しやすい色や模様</b>が使用され、<b>カラーユニバーサルデザイン</b>に配慮がなされている。</li> <li>色数の多いグラフや地図には、<b>模様や線種、記号</b>などが使用され、色以外での区別ができるように配慮されている。</li> <li>図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすくなっている。</li> <li>各見開きのデザインは、<b>生徒が学習しやすい</b>ように本文、資料、側注などが統一されたレイアウトで整理されている。</li> <li>紙面右端のインデックスには、<b>章の学習内容が記載</b>されていることで、<b>一目で学習している単元がわかる</b>ように配慮されている。</li> <li>反射を抑えた紙が用いられ、<b>読み取りやすくなる</b>ように配慮されている。</li> </ul>	おもに p.45-46
印刷・装丁等	紙質や印刷の鮮明さなど、生徒の利便性への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真の印刷は<b>鮮明で見やす</b>くなっている。</li> <li>表やグラフなどの図版は、<b>記号や注記文字が明瞭</b>で読み取りやすいように配慮されている。</li> <li>紙は、<b>反射を抑えつつ、鮮明に発色</b>して裏写りせず、かつ文字も書き込める<b>軽量な</b>ものが使用されている。</li> <li>生徒が家庭に持ち帰ることを想定し、<b>軽い紙が用いられている</b>(現行教科書比単位面積あたり約5%の軽量化)。</li> </ul>	おもに p.45-46
	造本は長期間の使用に耐えられるような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>表紙の材料は<b>引っ張り、折り</b>などに強い用紙が使用され、さらに、表面の<b>摩擦・汚れを防ぐ</b>ためにポリプロピレンシートが貼られており、<b>長期間の使用に耐えられる</b>。</li> <li>製本は、<b>針金綴じよりも強度があり、かつ重量の軽いPUR製本</b>が用いられている。これにより本が大きく開くため、<b>掲載情報量が増える</b>とともに、<b>机の上に開いたまま置くことができる</b>。</li> </ul>	おもに p.45-46
サポート体制	用紙・インキ等は、環境への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙および環境に優しいフレッシュパルプが用いられている。インキには<b>国産米の米ぬか</b>から作られる<b>ライスインキ</b>が使用され、<b>環境保全と地産地消への配慮がな</b>されている。</li> <li>針金を使わない<b>PUR製本</b>により、<b>資源を節約</b>すると同時に、<b>リサイクルしやす</b>くなっている。</li> </ul>	おもに p.45-46
	デジタル教科書・教材や教師用指導書などのサポート体制はどのようなになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者用デジタル教科書、学習者用デジタル教材、指導者用デジタル教科書(教材)、教師用指導書、<b>拡大教科書</b>が令和3年4月までに発刊される予定である。</li> </ul>	おもに p.47-50





# 『社会科 中学生の公民』の全体構成(もくじ)

本資料での掲載ページ

巻頭資料, もくじなど		巻頭1-8	
第1部	現代社会		40
	学習の前に 40年前と今の社会を比較してみよう	1-2	7,8
	第1章 現代社会と文化	3-16	—
	第1節 現代社会の特色	3-8	8,33
	第2節 私たちの生活と文化	9-14	16,33
	章の学習を振り返ろう	15-16	—
	第2章 現代社会をとらえる枠組み	17-26	13,25,27,34
	章の学習を振り返ろう	25-26	—
第2部	政治		—
	学習の前に 私たちの暮らしと憲法の関係を見よう	27-28	5,6
	第1章 日本国憲法	29-64	—
	第1節 民主主義と日本国憲法	29-40	28,35
	第2節 基本的人権の尊重	41-58	35
	第3節 法の支配を支えるしくみ	59-62	—
	章の学習を振り返ろう	63-64	—
	学習の前に みんなが暮らしやすい社会をつくってみよう	65-66	—
	第2章 民主政治	67-106	—
	第1節 民主政治と私たち	67-76	32
	第2節 国の政治のしくみ	77-92	16,36
	第3節 地方自治と私たち	93-104	1,11-13,32,36
	章の学習を振り返ろう	105-106	—
第3部	経済		—
	学習の前に 身の回りの暮らしと経済について見てみよう	107-108	—
	第1章 市場経済	109-156	—
	第1節 私たちの生活と経済	109-116	17,26,29,31,37
	第2節 消費者と経済	117-126	9,10,32
	第3節 企業と経済	127-144	14,18-20,37,38
	第4節 これからの日本経済	145-154	2,38
	章の学習を振り返ろう	155-156	21,22
	第2章 財政	157-170	10,23,24
	章の学習を振り返ろう	169-170	—
第4部	国際		—
	学習の前に 「持続可能な社会」を目指していくために	171-172	—
	第1章 国際社会	173-202	—
	第1節 紛争のない世界へ	173-188	9,39
	第2節 貧困解消と環境保全	189-200	1, 2,14-16,30,39
	章の学習を振り返ろう	201-202	—
	第2章 課題の探究	203-210	40
	法令, さくいん, 巻末資料など	211-235, 巻末1-3	1,44

## 著作者を代表して

筑波大学 名誉教授 江口 勇治

### 主体的に社会に参画する意識を育む教科書

今日の社会は、情報化やグローバル化、少子高齢化など急速な変化に直面しています。そうしたなか、これからの社会を担う子どもたちが、社会の課題を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、よりよい社会の実現に向けて積極的に参画していくことが重要だと考えています。そこで本書では、以下のような工夫を凝らしています。

まず、**学習の導入部分の工夫**です。学習内容と自分自身との関わりを実感できるように、各部の冒頭に大判のイラストページ「学習の前に」を設置しています。学習内容に関する事項をイラストから探す作業を通じて、その後の学習への意欲を高められるようにしています。

次に、**社会参画を促す内容構成**です。社会、政治、経済、国際の各単元において、社会参画の大切さをわかりやすく解説するとともに、実社会で活躍する人々の事例やインタビューなどを多数掲載しています。

さらに、**深い学びにつながる「問い」の充実**です。社会の問題を自分なりに考え、追究する姿勢を育めるように、見通しをもって学習に取り組め

るような「問い」と、深い学びにつながる「振り返り」を重視して構成しています。その際、課題を考察・追究するための視点や方法である「**見方・考え方**」をわかりやすく解説し、しっかり理解できるようにしています。

そして、**知識を着実に習得するための工夫**です。課題を追究するための前提となる知識を着実に習得できるよう、わかりやすい図解などを多数掲載しています。

こうした特色を通じて、子どもたちが、**主体的に社会に参画する意識**を育めることを願っています。

公民的分野の学習は、地理的分野と歴史的分野をふまえた、社会科の総まとめといえます。この教科書を活用して、子どもたちが自分の夢に向かって社会に参画することを、先生方の指導で支援してみてください。

帝国書院の  
教科書づくりへの想い  
【動画 2分34秒】



### 本書の著作関係者

※所属・肩書きは令和2(2020)年3月時点のもの

#### 監修者

江口 勇治 筑波大学名誉教授  
吉川 洋 立正大学教授

#### 著作者

池上 彰 名城大学教授  
鴛原 進 愛媛大学教授  
木村 草太 首都大学東京教授  
小林 秀之 一橋大学名誉教授  
佐藤 主光 一橋大学教授  
佐橋 亮 東京大学准教授  
中川 雅之 日本大学教授  
藤原 帰一 東京大学教授  
松岡 尚敏 宮城教育大学教授  
村松 剛 弁護士

吉村 功太郎 宮崎大学教授  
石本 貞衡 東京都練馬区立大泉中学校主任教諭  
三枝 利多 東京都目黒区立東山中学校主任教諭  
藤田 琢治 東京都練馬区立大泉学園中学校主任教諭

#### 編集委員

石上 和宏 東京都立中学校元校長  
梅津 正美 鳴門教育大学教授  
米田 豊 兵庫教育大学教授  
志村 喬 上越教育大学教授  
土屋 武志 愛知教育大学教授  
永田 忠道 広島大学准教授  
吉田 剛 宮城教育大学教授

#### 編集協力者

有吉 保和 武蔵村山市教育センター研修室長  
石田 了子 石川県金沢市立清泉中学校教諭  
井上 昌善 愛媛大学講師  
井寄 芳春 大阪府大阪市立横堤中学校校長  
佐藤 尚 大分県立大分豊府高等学校教諭  
堤 拓 神奈川県横浜市立高田中学校教諭  
平山 裕人 コロボックル学びの家  
山辺 慎太郎 北海道東神楽町立東神楽中学校教諭

#### 特別支援教育に関する監修・校閲者

柏倉 秀克 桜花学園大学教授  
丹治 達義 筑波大学附属  
視覚特別支援学校教諭